USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

W500

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

BenQ

W500 LCD プロジェクタ
ホームエンターテイメントシリーズ
ユーザーズ ガイド

Welcome

目次

安全上のご注意 5

紹介 8

プロジェクタの特長 8

パッケージ内容 9

標準アクセサリ 9

別売りアクセサリ 9

プロジェクタ外観ビュー 10

前面および上面 10

背面 10

底面 10

制御装置および機能 11

プロジェクタ 11

リモートコントロール 12

リモコンの電池の交換 13

リモコンの有効範囲 13

設置 14

場所の選択 14

投写画像サイズを調整する 15

使用するスクリーンサイズに対しプロジェクタの設置場所を決定する 15

設置する距離に対し推奨するスクリーンサイズを決定する 15

16:9 スクリーンを使用する場合の設置 16

4:3 スクリーンを使用する場合の設置 17

投写レンズのシフト 18

接続 19

コンピュータの接続 19

ビデオ機器との接続 20

HDMI デバイスの接続 20

コンポーネントビデオソース装置の接続 21

S ビデオまたはコンポジットビデオ ソース装置の接続 22

プロジェクタの使用方法 23

起動 23

パスワード機能の使い方 24

パスワードの設定 24

パスワードを忘れた場合 24

パスワードの呼び戻しを行うには 24

パスワードの変更 25

パスワード機能を無効にする 25

入力信号の切り替え 25

自動ソース検索を有効にする 26

ソースの高速検出 26
投写イメージの調整 26
投写角度の調整 26
画像サイズと明瞭さの微調整 26
2D キーストーン補正 26
台形ひずみと樽状ひずみの補正 27
画像の最適化 28
1. 画像モードの選択 28
2. 画質の調整 29
3. 縦横比の選択 29
画質の詳細設定 30
黒レベルの設定 30
明瞭さの調整 31
色温度の選択 31
色温度の設定 31
色管理 32
ブルーフィルタの有効化 32
高地での操作 33
投写画像の詳細を表示する 33
オリジナルのスタートアップ画面を作成する 33
プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ 34
終了 34
メニュー 35
オン スクリーン ディスプレイ (OSD) の構造 35
メニューの使用方法 36
ピクチャ -- 基本設定メニュー 37
ピクチャ -- 詳細設定メニュー 38
ディスプレイメニュー 38
システム設定メニュー 39
詳細セットアップメニュー 40
情報メニュー 41
メンテナンス 42
プロジェクタのお手入れ 42
レンズのクリーニング 42
プロジェクタの保管 42
プロジェクタの移動 42
ダストフィルタのお手入れと取り替え 42
ランプについて 44
ランプの使用時間の計算 44
ランプの交換 45
温度情報 47

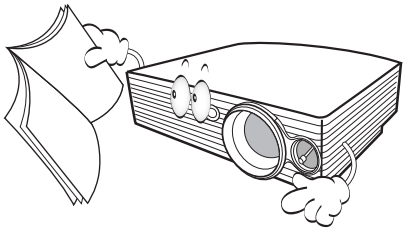
インジケータ 47
トラブルシューティング 49
仕様 50
プロジェクタの仕様 50
光学 50
電気仕様 50
端末 50
機械仕様 50
外形寸法 50
タイミングチャート 51
保証と著作権について 53
著作権 53
免責 53
保証 53
法規 54
FCC 規則 54
EEC 規則 54
MIC 規則 54
WEEE 指令 54

1 安全上のご注意

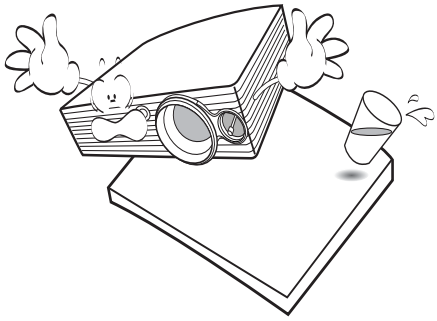
お使いの BenQ プロジェクタは、情報テクノロジ機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

安全上のご注意

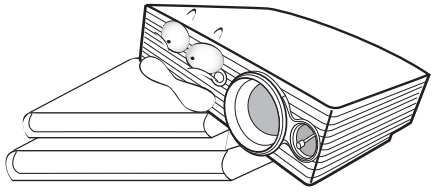
1. プロジェクタを操作する前に、このユーザーガイドをお読みください。本書はいつでも必要なときに参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。



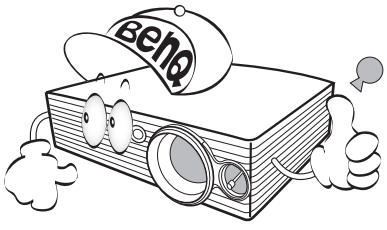
2. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
   - 本製品を不安定なカート、スタンド、テーブルに置かないでください。製品が落ちてケガをしたり、製品が故障したりする場合があります。



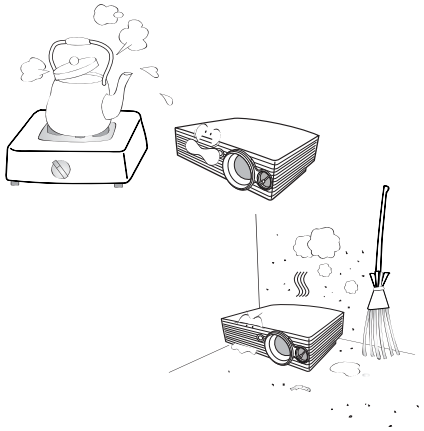
   - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。
   - 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15°を超える状態で使用しないでください。



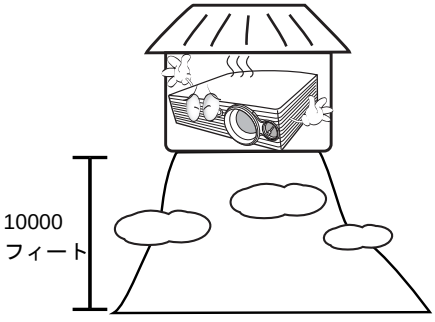
3. 点検修理については、認定技術者にお問い合わせください。



4. 次の場所に装置を置かないでください。
   - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50cm 以上空けて、プロジェクタの周辺の風通しをよくしてください。
   - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
   - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。

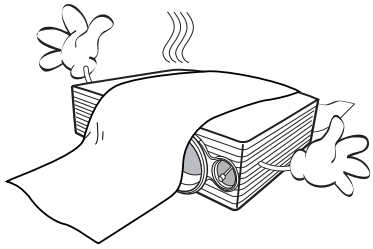


   - 火災報知器に近い場所。
   - 周辺温度が 40ºC / 104ºF を超える場所。
   - 高度が 海抜 3050 メートル / 10000 フィートを超える場所。

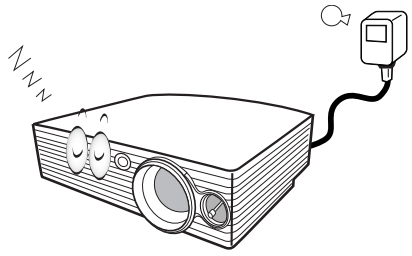


安全上のご注意 (続き)

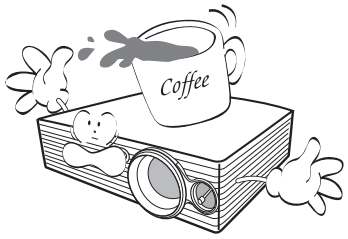
5. プロジェクタ動作中に通気孔をふさがないでください (スタンバイモードでもしなさい):
   - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
   - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。



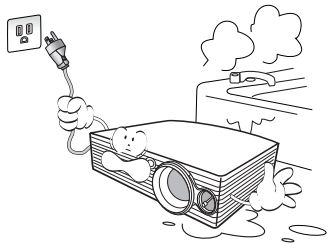
6. メインの電源電圧が ±10 ボルト程度の変動がある場所では、プロジェクタを電源安定化装置、サージプロテクタ、あるいは UPS のいずれかに接続されるようお薦めします。



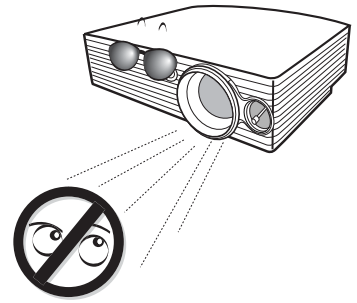
7. 装置の上に乗ったり、物を置かないでください。



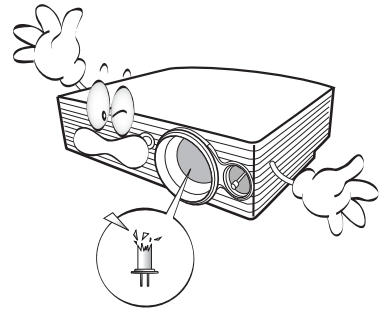
8. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクタに液体が入った場合は、保証は適用されません。プロジェクタを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクタを外し、BenQ にご連絡の上プロジェクタの点検をご依頼ください。



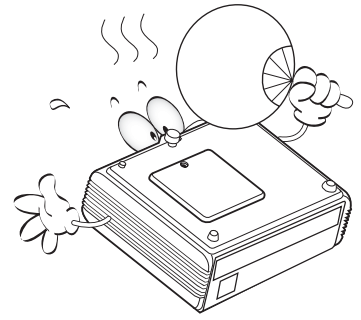
9. 動作中は、プロジェクタのレンズを覗き込まないでください。目を傷つける場合があります。



10. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。

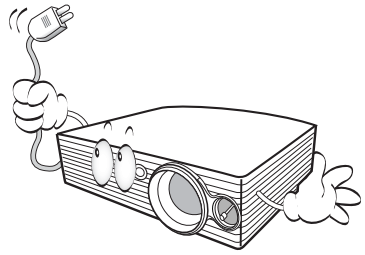


11. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクタの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクタを常温に戻してください。

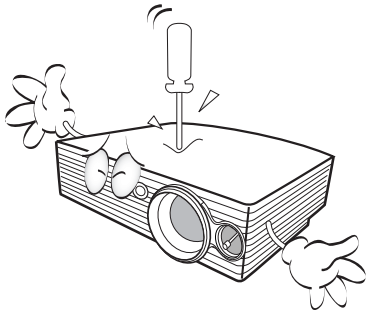


安全上のご注意 (続き)

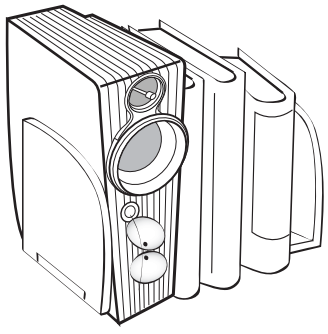
12. プロジェクタが完全に冷却され、電源からコードを外すまでは、絶対にランプ部品を交換しないでください。



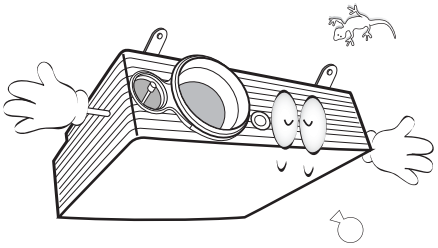
13. 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。ユーザーが補修できるパーツはランプ、および専用の取り外し可能なカバーまたはアクセスパネルが付いているエアフィルタだけです。詳細は 42 ページを参照してください。
いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理は認定サービス担当者にお問い合わせください。



14. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにすると、装置が倒れけがをしたり、装置が損傷する恐れがあります。



15. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。BenQ の天井取り付けキットを使用してください。



⚠ プロジェクタの天井取り付け

BenQ プロジェクタを安心してお使いいただくために、ここに記載する注意をよくお読みになり指示にしたがってください。
プロジェクタを天井に取り付ける場合は、BenQ プロジェクタ専用天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。
BenQ プロジェクタ以外の天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクタが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。
BenQ プロジェクタ専用天井取り付けキットは、BenQ プロジェクタを購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途ケンジントンロックをお求めになり、プロジェクタのケンジントンロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお薦めします。このようにしておくと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクタを補助的に支えることができます。

2 紹介

プロジェクタの特長

このプロジェクタは高性能な光学エンジン投写技術とユーザーフレンドリーな設計を統合しており、高い信頼性と使いやすさを実現しています。
プロジェクタには次のような特長があります。

- 3 つのパネルが付いた LCD システムにより、優れた輝度、彩度、深みを実現
- コントラストおよび鮮明さを向上し、さらにノイズ軽減、モーション最適化を取り込んだ優れた画質を実現する HQV (Hollywood Quality Video) スケーラー機能
- レンズシフトレバーを感覚的に操作しプロジェクタを自在に設定
- 耳障りなファンノイズを防止するユニークな冷却システム設定
  (省電力モードで 32dB 以下)
- パスワード保護機能の選択
- 高品質の手動ズームレンズ
- 画像の歪みを補正する 2 方向デジタルキーストーン補正 (台形ひずみおよび樽状ひずみ)
- 超高輝度投写ランプ
- 言語を選択できるオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー
- 消費電力を節約する標準 / 省電力モードの切り替えが可能
- 高画質なビデオ映像を提供する強力な AV 機能
- 5000:1 の高コントラスト比を実現する Dynamic IRIS
- コンポーネント HDTV 互換
- ビデオと PC 装置を接続するための多様な入力方式

☞ **• 投写イメージの明るさは、周辺光の状態および選択した入力ソースのコントラスト / 輝度設定によって変わります。また投写距離の影響を直接受けます。**

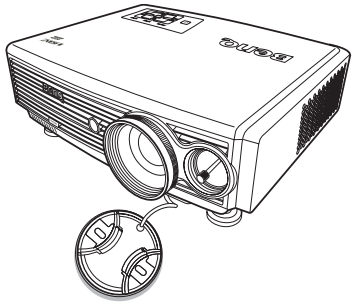
• ランプの明度は時間の経過に伴い暗くなります。また明度はランプ製造元の仕様によって異なります。これは異常ではなく、正常で予期される変化です。

パッケージ内容

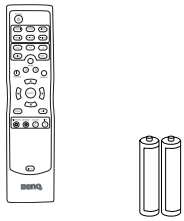
プロジェクタには、PC またはビデオ装置に接続するのに必要なケーブルが同梱されています。本製品を購入された地域によっては、同梱されていないアイテムもあります。ご購入場所をご確認ください。

標準アクセサリ

☞ **アクセサリの種類は地域により変わるため、下図の内容とは異なる場合があります。**



プロジェクタ



リモートコントロールと単 4 電池 2 個



ユーザーズ ガイド



クイックスタートガイド



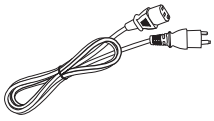
ユーザーズ ガイド CD



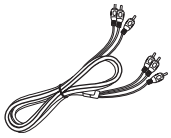
保証書



安全のための説明書



電源ケーブル



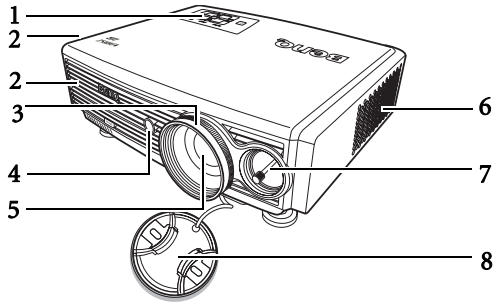
コンポーネントビデオケーブル

別売りアクセサリ

1. HDMI ケーブル
2. スペアランプキット
3. 天井取り付けキット

プロジェクタ外観ビュー

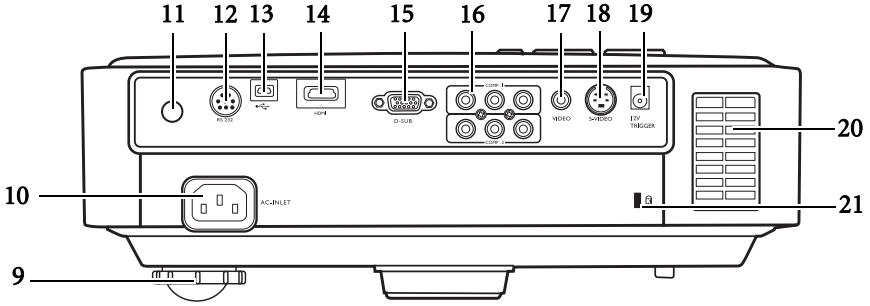
前面および上面



1. 外部コントロールパネル
   (詳細は、11 ページを参照してください)
2. 通気（熱気排出）
3. フォーカスおよびズーム調整
4. 前面 IR センサー
5. 投写レンズ
6. 通気 （冷気取り込み）
7. レンズシフトレバー
8. レンズキャップ

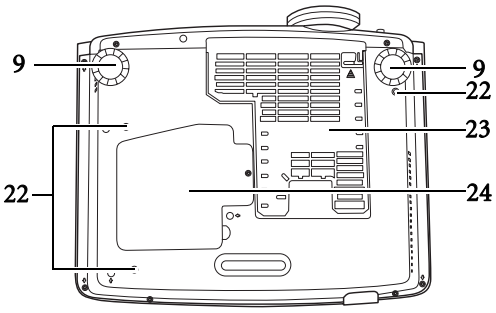
背面

接続についての詳細は、19 ページの " 接続 " を参照してください。



9. 前面アジャスタ フット
10. AC 電源コード差し込み口
11. 背面 IR センサー
12. RS-232C ポート
13. USB ソケット
14. HDMI ポート
15. RGB ソケット
16. コンポーネントビデオ入力 （RCA）
    Y/PB/PR または Y/CB/CR ビデオ信号に対応しています。
17. コンポーネントビデオ入力 （RCA）
18. S-Video 入力 (ミニ 4-pin DIN)
19. 12VDC 出力端末
    電子スクリーンや照明コントロールなど、外付け装置を使用するために使用します。これらの装置の接続方法については、販売店へお尋ねください。
    ⚠ 電流の合計が 0.5 A を超えないようご注意ください。
20. 通気 （冷気取り込み）
21. 盗難防止用ケンジントンロック スロット

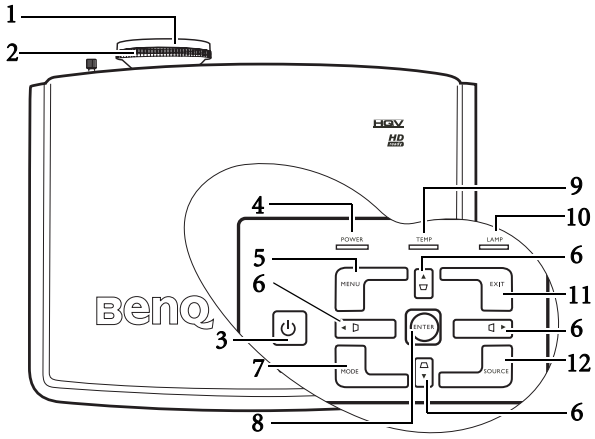
底面



22. 天井取り付けブラケット用ネジ穴
23. ダストフィルタ グリル
24. ランプカバー

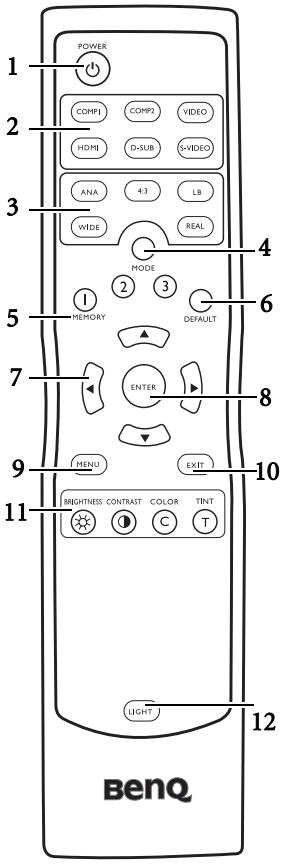
制御装置および機能

プロジェクタ



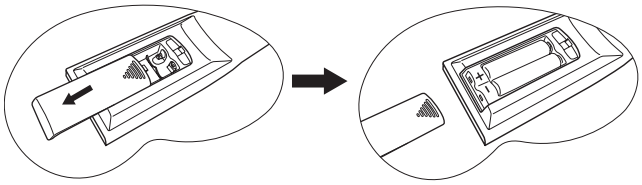
1. **ピント リング**
   投写イメージの焦点を調整します。詳細は、26 ページの " 画像サイズと明瞭さの微調整 " を参照してください。
2. **ズームリング**
   画像のサイズを調整します。詳細は、26 ページの " 画像サイズと明瞭さの微調整 " を参照してください。
3. **電源**
   プロジェクタのオン / オフを切り替えます。詳細は、23、34、47 ページを参照してください。
4. **POWER (電源インジケータ ライト)**
   プロジェクタ動作中に点灯または点滅します。詳細は、47 ページの " 温度情報 " を参照してください。
5. **MENU**
   オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのオン / オフを切り替えます。詳細は、36 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。
6. **キーストーン / 矢印ボタン (◄ 左、▲ 上、► 右、▼ 下)**
   投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。詳細は、26 ページの "2D キーストーン補正 " を参照してください。オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが有効になった場合、これらのボタンを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。詳細は、36 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。
7. **MODE**
   各入力で有効な、あらかじめ定義されている画像設定を順番に選択することができます。詳細は、28 ページの "1. 画像モードの選択 " を参照してください。
8. **ENTER**
   選択したオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを実行します。詳細は、36 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。
9. **TEMP (温度警告ライト)**
   プロジェクタの温度が異常に高くなると点灯または点滅します。詳細は、47 ページの " 温度情報 " を参照してください。
10. **LAMP (ランプインジケータ ライト)**
    プロジェクタのランプに問題が発生した場合に点灯または点滅します。詳細は、47 ページの " 温度情報 " を参照してください。
11. **EXIT**
    オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを終了し、行った変更内容を保存します。詳細は、36 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。
12. **SOURCE**
    入力信号を D-SUB、HDMI、ビデオ、S ビデオ、COMP1、COMP2 の順番で切り替えます。詳細は、25 ページの " 入力信号の切り替え " を参照してください。

リモートコントロール



1. **POWER**
   プロジェクタのオン / オフを切り替えます。詳細は、23、34、47 ページを参照してください。
2. **ソースボタン**
   (COMP1、COMP2、VIDEO、HDMI、D-SUB、S-VIDEO)
   表示する入力ソースを選択します。詳細は、25 ページの " 入力信号の切り替え " を参照してください。
3. **縦横比ボタン (ANA (アナモフィック)、4:3、LB (レターボックス)、WIDE、REAL)**
   表示縦横比を選択します。詳細は、29 ページの "3. 縦横比の選択 " を参照してください。
4. **MODE**
   画像モードの 1 つを選択します (シネマ、ダイナミック、標準、写真、ユーザー 1、ユーザー 2、ユーザー 3)。詳細は、28 ページの "1. 画像モードの選択 " を参照してください。
5. **MEMORY (メモリ 1、2、3)**
   画像モードユーザー 1、2、3 のいずれかを選択します。詳細は、28 ページの "1. 画像モードの選択 " を参照してください。
6. **DEFAULT**
   現在の画像モードをデフォルト値に戻します。詳細は、28 ページの "1. 画像モードの選択 " を参照してください。
7. **矢印ボタン (◄ 左、▲ 上、► 右、▼ 下)**
   現在のオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューアイテムを選択した矢印の方向に移動します。詳細は、36 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。
8. **ENTER**
   選択したオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを実行します。詳細は、36 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。
9. **MENU**
   オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのオン / オフを切り替えます。詳細は、36 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。
10. **EXIT**
    オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを終了し、行った変更内容を保存します。詳細は、36 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。
11. **画質調整ボタン**
    詳細は、37 ページの " ピクチャ -- 基本設定メニュー " を参照してください。
12. **LIGHT**
    リモコンのバックライトを約 10 秒間オンにします。バックライトがオンになっているときに他のボタンを押すと、バックライトがさらに 10 秒間オンになります。再び LIGHT ボタンを押すとバックライトがオフになります。

リモコンの電池の交換



1. バッテリーカバーを開くには、リモコンを裏返してカバーのグリップを押し、図に示す方向にスライドさせてください。するとカバーが外れます。
2. 挿入されている電池を外し（必要な場合）、単 4 電池 2 個を極性に注意しながら挿入してください。プラス極（+）はプラスに、マイナス極（-）はマイナスの方向に挿入してください。
3. 再びカバーを元に戻してください。カチッという音がしたらカバーが閉まったことを意味しています。

⚠ **• 古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用したり、異なるタイプのバッテリーを混ぜて使用したりしないでください。**

• リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。

• また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。

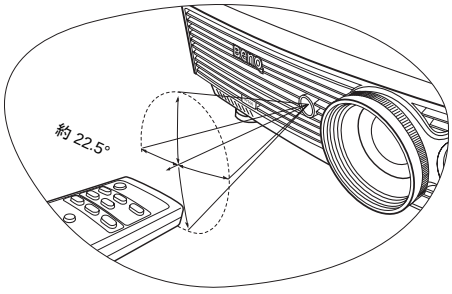
• リモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

リモコンの有効範囲

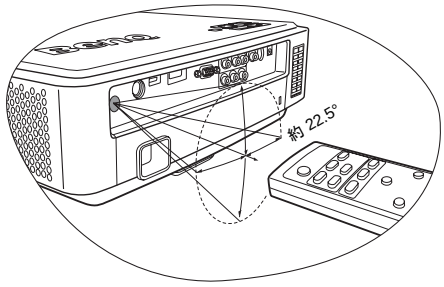
赤外線 (IR) リモコンセンサは、プロジェクタの前面と背面にあります。リモコンを正しく機能させるには、プロジェクタの IR リモコンセンサに対して 45 度以内でリモコンを使用する必要があります。リモコンとセンサの間の距離は、8 メートルを超えないようにしてください。

リモコンとプロジェクタの間に赤外線を遮断する障害物がないかどうかを確認します。

• 正面からの操作



• 背面からの操作



3 設置

場所の選択

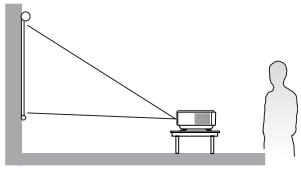
本機は次の 4 通りの設置状態で使うことができます。

1. 床面前面、
2. 天井前面、
3. 床面背面、または
4. 天井背面。

部屋のレイアウトやお好みで、どの設定で設置するか決めてください。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクタとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

1. **床面前面**：

プロジェクタをスクリーンの正面に床面近くに設置します。これが最も一般的な設定です。

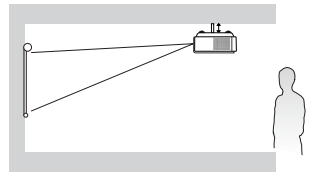


2. **天井前面**：

プロジェクタをスクリーン正面の天井に取り付けます。

この方法で設置する場合は、BenQ プロジェクタ天井取り付けキットをご購入ください。

プロジェクタをオンにしたら、**システム設定** > **プロジェクタの配置**メニューで**天井前面**を設定してください。

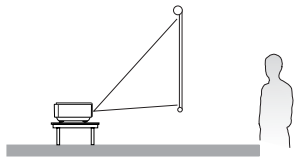


3. **床面背面**：

プロジェクタをスクリーン背面、床面近くに設置します。

専用の背面スクリーン投写が必要です。

プロジェクタをオンにしたら、**システム設定** > **プロジェクタの位置**メニューで**床面背面**を設定してください。

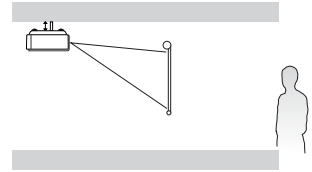


4. **天井背面**：

プロジェクタをスクリーン背面の天井に取り付けます。

専用の背面投写スクリーンと BenQ プロジェクタ天井取り付けキットが必要です。

プロジェクタをオンにしたら、**システム設定** > **プロジェクタの位置**メニューで**天井背面**を設定してください。



投写画像サイズを調整する

投写距離、ズーム設定、ビデオフォーマットにより投写画面サイズは変化します。16:9 と 4:3 の両サイズ用の表を用意しましたので、プロジェクタを設置する場所を決定する際参照してください。

プロジェクタは必ず机の上などに水平に配置し、スクリーンの水平方向の中央に対して直角になるように設置してください。このように設置することによって、角度を付けて投写（または角度が付いた面に投写する場合）すると生じる画像の歪みを防止することができます。

プロジェクタを天井に取り付ける場合は、プロジェクタがやや下向きに角度を付けて投写するように上下逆さまに取り付ける必要があります。

このプロジェクタには取り外し可能なレンズが付いています。詳細は、18 ページの " 投写レンズのシフト " を参照してください。

プロジェクタを設置するための適度な距離については、縦横比 16:9 と 4 : 3 のスクリーンサイズの表をご参照ください。16 と 17 ページのサイズ表における縦オフセットの高さは、レンズを完全に上または下にシフトした状態で測定されています。16 と 17 ページの図をご覧になるとお分かりいただけるように、このタイプの投写方法では投写画像の下端がプロジェクタの水平面から縦に傾いてしまいます。天井に取り付けた場合は、投写画像の上端がこのようになります。

設置場所を決定するときには、スクリーン中央に対し直角の水平距離（投写距離）と、スクリーンの上下端からのプロジェクタの縦オフセットの高さ（オフセット）の 2 つのサイズを考慮してください。

プロジェクタをスクリーンから遠ざけると、投写イメージのサイズが拡大され、それに伴い縦のオフセットも広がります。

スクリーンとプロジェクタの距離を決定する際は、投写距離に直接比例する投写イメージのサイズと縦オフセットのサイズも考慮する必要があります。

使用するスクリーンサイズに対しプロジェクタの設置場所を決定する

1. スクリーンの縦横比が 16:9 か 4:3 のどちらであるか決定します。
2. 表を参考にして、左側の " スクリーンサイズ " という欄から使用したいスクリーンサイズに最も近いものを探してください。この値の列を右に見ていくと、「平均」という欄に相当するスクリーンからの平均距離が記載されています。これが投写距離になります。

例えば、120 インチ、縦横比 4:3 のスクリーンをお使いになる場合は、"4:3 (標準) スクリーンサイズ表 " をご参照ください。平均投写距離は 5332 mm です。

プロジェクタを別の場所に移動させると（推奨される範囲内で）、スクリーンの中央に画像が表示されるようにプロジェクタを上下に傾ける必要があります。そうすると、画像に歪みが生じる場合があります。この場合は、キーストーン機能を使用して歪みを補正します。詳細は、26 ページの " 投写イメージの調整 " を参照してください。

設置する距離に対し推奨するスクリーンサイズを決定する

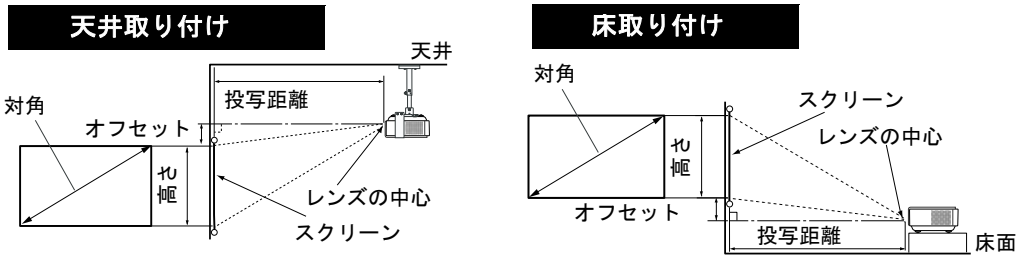
これは、プロジェクタを設置する部屋に合ったスクリーンサイズを求めるための方法です。

最大スクリーンサイズは、使用する部屋の実際のスペースが上限となります。

1. スクリーンの縦横比が 16:9 か 4:3 のどちらであるか決定します。
2. プロジェクタとスクリーンを設置したい場所までの距離を測ってください。これが投写距離になります。
3. 表を参考にして、「平均」という欄からスクリーンからの平均距離に最も近い値を探してください。測定した距離が最小距離と最大距離（平均距離値の両側に表示されています）の間にあることを確認してください。
4. この値と同じ列を左へ見ていくと、相当するスクリーンサイズを見つけることができます。これが投写距離からの投写画像サイズになります。

例えば、縦横比 16:9 のスクリーンを使用し、測定した投写距離が 4.5m (4500mm) であった場合は、"16:9 (ワイドスクリーン) スクリーンサイズ表 " を参照してください。「平均」欄でこれに最も近い値は 4356 mm となります。同じ列を見ると、3,048 mm （30.48 m）が必要なスクリーンであることが分かります。大型サイズのスクリーンしか使用できない場合は、スクリーンサイズは対角 10' (120") となります。

16:9 スクリーンを使用する場合の設置

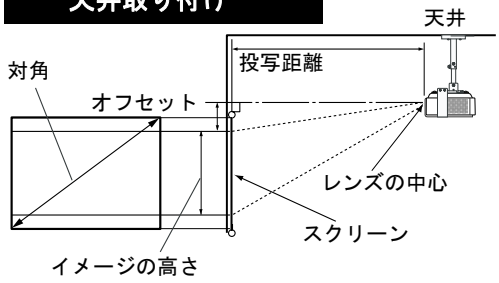


16:9 (ワイドスクリーン) スクリーンサイズ表

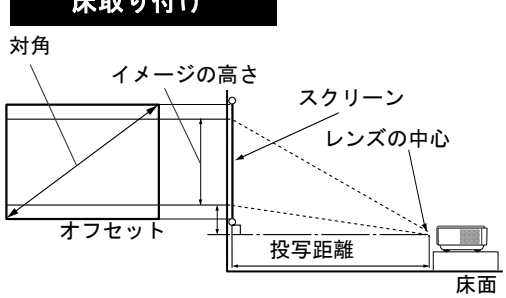
スクリーンサイズ					スクリーンからの距離（mm）			縦オフセット (mm)	
対角			幅	高さ	最短距離（最大ズームにて）	平均	最長距離（最小ズームにて）	レンズの最高位置	レンズの最低位置
フィート	インチ	mm	mm	mm					
3.3	40	1016	886	498	1320	1452	1584	50	-548
4.2	50	1270	1107	623	1650	1815	1980	62	-685
5.0	60	1524	1328	747	1980	2178	2376	75	-822
5.8	70	1778	1550	872	2310	2541	2772	87	-959
6.7	80	2032	1771	996	2640	2904	3168	100	-1096
7.5	90	2286	1992	1121	2970	3267	3564	112	-1233
8.3	100	2540	2214	1245	3300	3630	3960	125	-1370
9.2	110	2794	2435	1370	3630	3993	4356	137	-1507
10.0	120	3048	2657	1494	3960	4356	4752	149	-1644
10.8	130	3302	2878	1619	4290	4719	5148	162	-1781
11.7	140	3556	3099	1743	4620	5082	5544	174	-1918
12.5	150	3810	3321	1868	4950	5445	5940	187	-2055
13.3	160	4064	3542	1992	5280	5808	6336	199	-2192
14.2	170	4318	3763	2117	5610	6171	6732	212	-2329
15.0	180	4572	3985	2241	5940	6534	7128	224	-2466
15.8	190	4826	4206	2366	6270	6897	7524	237	-2603
16.7	200	5080	4428	2491	6600	7260	7920	249	-2740
20.8	250	1016	5535	3113	8250	9075	9900	311	-3424

4:3 スクリーンを使用する場合の設置

天井取り付け



床取り付け



4:3 (標準) スクリーンサイズ表

スクリーンサイズ					スクリーンからの距離（mm）			縦オフセット（mm）	
対角			幅	高さ	最短距離（最大ズームにて）	平均	最長距離（最小ズームにて）	レンズの最高位置	レンズの最低位置
フィート	インチ	mm	mm	mm					
3.3	40	1016	813	610	1615	1777	1939	61	-671
4.2	50	1270	1016	762	2019	2222	2424	76	-838
5.0	60	1524	1219	914	2423	2666	2909	91	-1006
5.8	70	1778	1422	1067	2827	3110	3394	107	-1173
6.7	80	2032	1626	1219	3230	3554	3878	122	-1341
7.5	90	2286	1829	1372	3634	3999	4363	137	-1509
8.3	100	2540	2032	1524	4038	4443	4848	152	-1676
9.2	110	2794	2235	1676	4442	4887	5333	168	-1844
10.0	120	3048	2438	1829	4846	5332	5818	183	-2012
10.8	130	3302	2642	1981	5249	5776	6302	198	-2179
11.7	140	3556	2845	2134	5653	6220	6787	213	-2347
12.5	150	3810	3048	2286	6057	6665	7272	229	-2515
13.3	160	4064	3251	2438	6461	7109	7757	244	-2682
14.2	170	4318	3454	2591	6865	7553	8242	259	-2850
15.0	180	4572	3658	2743	7268	7997	8726	274	-3018
15.8	190	4826	3861	2896	7672	8442	9211	290	-3185
16.7	200	5080	4064	3048	8076	8886	9696	305	-3353

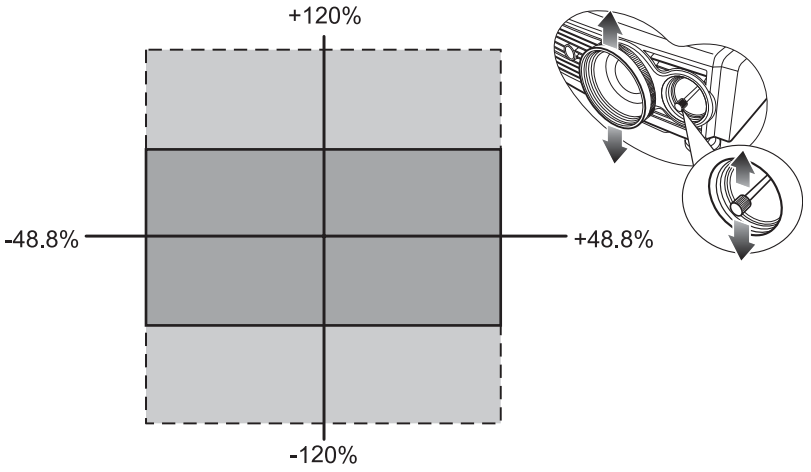
☞ **光学部品の偏差のため、上記 2 つの表の数字には 3% の公差があります。プロジェクタを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクタを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお薦めします。このように準備しておくことによって、プロジェクタを最適な位置に固定することができます。**

投写レンズのシフト

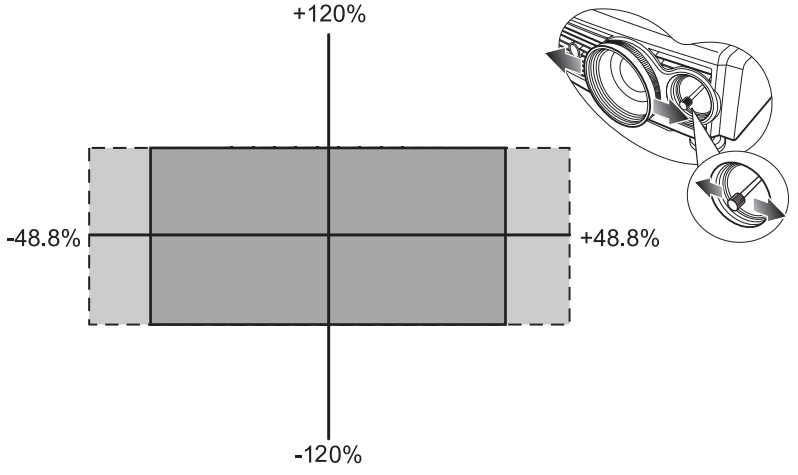
プロジェクタの手前側には、プロジェクタを柔軟に取り付けられるようにレンズシフトレバーがあります。このレバーを使うと、プロジェクタをスクリーンの中央からずらして設置することができます。

レンズシフト (オフセット) は投写画像の高さまたは幅のパーセンテージにより表示されます。これは投写画像の縦中心または横中心からのオフセットとして測定されます。W500 には、±110% の縦レンズシフトと ±48.8% の横シフトが用意されています。投写レンズはジョイスティックを使って、範囲内で任意の方向にシフトさせることができます。

- **縦方向へのレンズシフト**



- **横方向へのレンズシフト**



☞ • **レンズシフトレバーは右に回すと固定され、左に回すと外れます。レバーは締めすぎないでください。**

- **レンズシフトを行っても画質に変化はありません。ただし、まれに画像が歪む場合があります。その場合は、26 ページの " 投写イメージの調整 " を参照してください。**

4 接続

プロジェクタは VCR、DVD プレーヤー、デジタルチューナー、ケーブルボックスまたは衛星デコーダー、ビデオゲームコンソール、デジタルカメラなど、あらゆる種類のビデオ装置と接続できます。またデスクトップ PC やラップトップ PC、アップルマッキントッシュ機との接続も可能です。

別のケーブルを使用すると、プロジェクタと複数のビデオ装置を同時に接続することができます。ユーザーがすべきことは、プロジェクタに合った適切な入力を選択することだけです。

信号ソースをプロジェクタに接続する際には、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに合った、正しい種類のプラグが付いたケーブルのみご使用ください。
3. ケーブルのプラグがすべて装置のソケットにしっかりと接続されていることを確認してください。

☞ **プロジェクタによっては、次の接続図に示すすべてのケーブルが同梱されていない場合があります (パッケージ内容については、9 ページを参照してください)。ほとんどのケーブルは電気店でお買い求めいただけます。国際規格のケーブルを購入されるようお薦めします。**

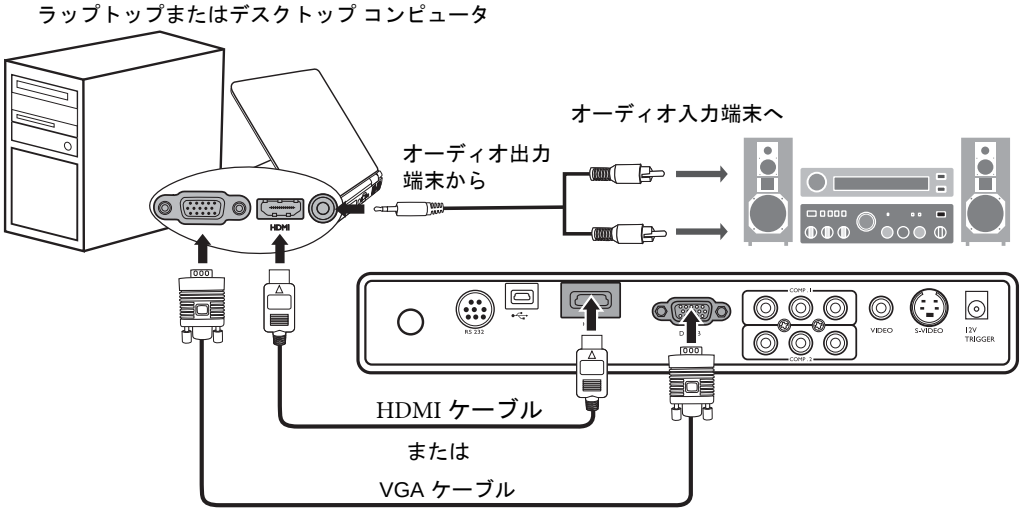
コンピュータの接続

このプロジェクタには PC と接続するための VGA および HDMI 入力ソケットがついています。

プロジェクタと PC を接続するには (VGA ケーブルまたは HDMI ケーブルを使用する場合) :

• VGA ケーブルを使用した場合 :	• HDMI ケーブルを使用した場合 :
1. VGA ケーブルをコンピュータの D-Sub 出力ソケットに接続します。 2. VGA ケーブルのもう片端をプロジェクタの D-Sub 信号入力ソケットに差し込んでください。	1. HDMI ケーブルをコンピュータの HDMI 出力ソケットに接続します。 2. HDMI ケーブルのもう片端をプロジェクタの HDMI 信号入力ソケットに差し込んでください。
3. 別途オーディオケーブルを適切なオーディオアンプに接続する必要があります。	

最終的には、下の図のような接続状態になります。



☞ **ラップトップコンピュータの多くは、プロジェクタに接続しても外付けビデオポートをオンにしません。通常 FN + F3 や CRT/LCD キーなどを使用すると、外部表示のオン / オフを切り替えることができます。ラップトップ上で CRT/LCD と記された機能キーか、モニタの記号が表示された機能キーの位置を確認してください。FN と記号が記された機能キーを同時に押します。ラップトップのキーの組み合わせについては、ラップトップの説明書をお読みください。**

ビデオ機器との接続

本プロジェクタは次の出力ソケットのいずれかを備えたビデオ機器と接続することができます。

- HDMI
- コンポーネントビデオ
- S ビデオ
- ビデオ（コンポジット）

上記のいずれかの方法でプロジェクタとビデオソース装置を接続してください。ただし、方法によってビデオ品質が異なります。接続方法は、プロジェクタとビデオソース装置の両方に搭載されている端末に合ったものを選択してください。

最高のビデオ品質

最高の品質を実現する接続方法は HDMI。HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は DTV チューナー、DVD プレーヤーなど互換性のある装置と未圧縮ビデオデータの転送を行い、１本のケーブルでデータを見られるようにします。この方式を使用すると、非常に優れたデジタル映像とオーディオをお楽しみいただけます。

プロジェクタと HDMI 装置の接続方法については、20 ページの "HDMI デバイスの接続 " を参照してください。

HDMI ソースがない場合は、コンポーネントビデオが適しています (「コンポジットビデオ」ではありません)。デジタル TV チューナーや DVD プレーヤーはコンポーネントビデオを出力しますので、使用できるならばこの方法で接続してください。

プロジェクタとコンポーネントビデオ装置の接続方法については、21 ページの " コンポーネントビデオソース装置の接続 " を参照してください。

良好なビデオ品質

S ビデオは標準のコンポジットビデオよりも品質が良いアナログビデオを再現します。ビデオソース装置にコンポジットビデオと S ビデオの両出力端末が付いている場合は、S ビデオを選択してください。

標準ビデオ品質

コンポジットビデオはアナログビデオであり、見るだけなら十分です。ただしプロジェクタから投写される結果は最適値以下であり、ここで記載した方法の中では最も品質が低い方法です。

プロジェクタと S ビデオまたはコンポジットビデオ装置の接続方法については、22 ページの "S ビデオまたはコンポジットビデオ ソース装置の接続 " を参照してください。

HDMI デバイスの接続

ビデオソース装置に未使用の HDMI ソケットがあるかどうかを調べてください。

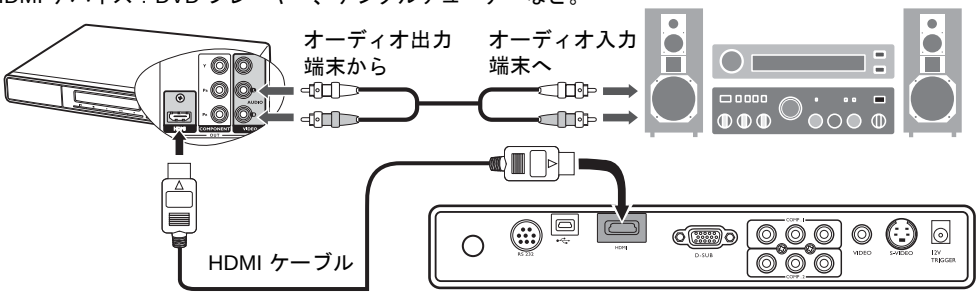
- ある場合は、手続きを続けてください。
- ない場合は、別の方法で装置を接続してください。

プロジェクタを HDMI デバイスに接続する：

1. HDMI ケーブルをビデオソース装置の HDMI 出力ソケットに接続します。
2. HDMI ケーブルのもう片端をプロジェクタの HDMI 入力ソケットに差し込んでください。
3. 別途オーディオケーブルを適切なオーディオアンプに接続する必要があります。

最終的には、下の図のような接続状態になります。

HDMI デバイス：DVD プレーヤー、デジタルチューナーなど。



☞ • **接続に DVI ー HDMI ケーブルを使用することはお薦めしません。DVI ー HDMI アダプタの重量が HDMI ポートに負担がかかり、時間の経過に伴いアダプタが外れてしまう場合があります。**

• **電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されず、正しいビデオソースが選択されている場合、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。**

コンポーネントビデオソース装置の接続

ビデオソース装置に未使用のコンポーネントビデオ出力ソケットがあるかどうかを調べてください。

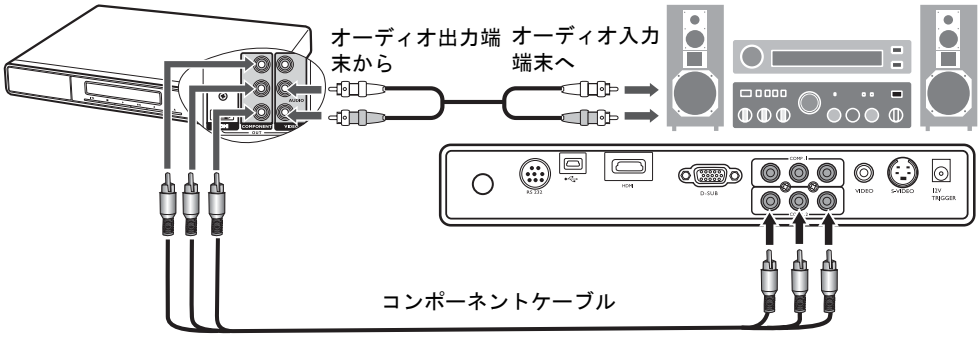
- ある場合は、手続きを続けてください。
- ない場合は、別の方法で装置を接続してください。

プロジェクタをコンポ - ネントビデオソース装置に接続するには：

1. コンポーネントビデオケーブルをビデオソース装置のコンポーネントビデオ出力ソケットに差し込んでください。プラグの色とソケットの色を合わせてください（緑は緑と、青は青と、赤は赤と）。
2. コンポーネントビデオケーブルのもう片端をプロジェクタの COMPONENT ソケットに差し込んでください。プラグの色とソケットの色を合わせてください（緑は緑と、青は青と、赤は赤と）。
3. 別途オーディオケーブルを適切なオーディオアンプに接続する必要があります。

最終的には、下の図のような接続状態になります。

AV 装置：DVD プレーヤー、デジタルチューナーなど。



プロジェクタを高精度 TV（HDTV）チューナーに接続する場合は、次の規格がサポートされています。

- 480i
- 576i
- 720p (50/ 60 Hz)
- 1080i (50/ 60 Hz)
- 480p
- 576p
- 1080p (24/ 50/ 60 Hz)

☞ **電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されず、正しいビデオソースが選択されている場合、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。**

S ビデオまたはコンポジットビデオ ソース装置の接続

ビデオソース装置に未使用の S ビデオまたはコンポジットビデオ出力ソケットがあるかどうかを調べてください。

- ある場合は、手続きを続けてください。
- ない場合は、別の方法で装置を接続してください。

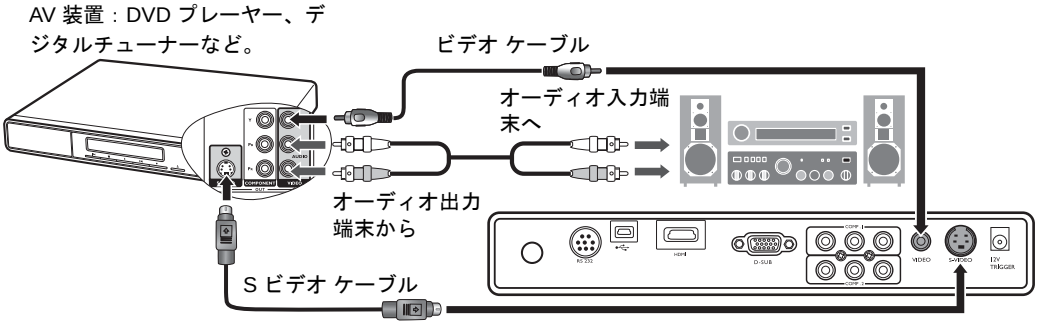
コンポーネントビデオ接続方式によりプロジェクタとビデオソース装置をすでに接続してある場合は、S ビデオ接続方式またはコンポジットビデオ接続方式でこの装置を接続すると不要に 2 つめの接続が生じ、画質が悪くなるため、このような接続を行う必要はありません。コンポーネントビデオと S ビデオの両方がビデオソース装置にない場合 (アナログビデオカメラなど) に限り、コンポジットビデオ接続を行う必要があります。S ビデオ接続が可能であれば、コンポジットビデオ接続の代わりに S ビデオ接続を行ってください。

詳細は、20 ページの " ビデオ機器との接続 " を参照してください。

プロジェクタを S ビデオまたはコンポジットビデオソース装置に接続する (S ビデオケーブルかビデオケーブルのどちらかを使用) :

• S ビデオケーブルを使用した場合 :	• ビデオケーブルを使用した場合 :
1. S ビデオケーブル（オプションアクセサリ）をビデオソース装置の S ビデオ出力ソケットに差し込んでください。 2. S ビデオケーブルのもう片端をプロジェクタの S ビデオソケットに差し込んでください。	1. ビデオケーブルをビデオソース装置のビデオ出力ソケットに接続します。 2. ビデオケーブルのもう片端をプロジェクタのビデオソケットに差し込んでください。
3. 別途オーディオケーブルを適切なオーディオアンプに接続する必要があります。	

最終的には、下の図のような接続状態になります。



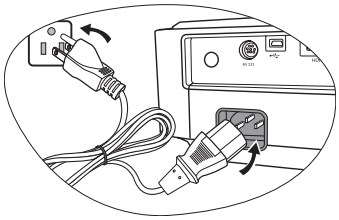
• 同一ビデオソース装置から S ビデオケーブルとコンポジットビデオケーブルの両方を同時に接続しないでください。一度にどちらか片方しか接続しないでください。詳細は、20 ページの " ビデオ機器との接続 " を参照してください。

• 電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されず、正しいビデオソースが選択されている場合、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

5 プロジェクタの使用方法

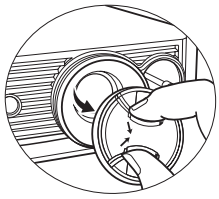
起動

1. 電源コードをプロジェクタとコンセントに差し込みます。コンセントのスイッチをオンにします（該当する場合）。電源を入れると、電源インジケータがオレンジ色になります。

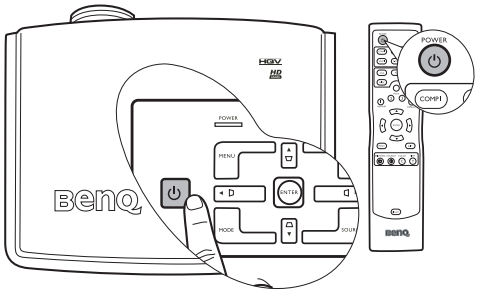


☞ **地域によって電源ケーブルの種類が図に示すものとは異なる場合があります 電源ケーブルは プロジェクタに付属のもので、ご使用になる 地域に合ったものだけをご使用ください。**

2. レンズ キャップを取り外します。キャップを付けたままにしておくと、プロジェクタのランプから発生する熱によりキャップが変形してしまいます。



3. プロジェクタまたはリモコンの **電源**ボタンを押すと、プロジェクタがオンになります。電源インジケータ ライトが緑色に点滅し、電源がオンになると、緑色のまま点灯します。
起動処理には約 30 秒かかります。起動処理の後半で、スタートアップ ロゴが表示されます。
必要であれば、ピントリングを使って画像の鮮明さを調整してください。



☞ • **ウォームアップ中はプロジェクタはいかなるコマンドにも応答しません。**

• **プロジェクタが前回の動作を終えた後まだ余熱を帯びている場合は、ランプをスタートアップする前に約 90 秒間冷却ファンが作動します。**

4. パスワードの入力を求められた場合は、矢印ボタンを使って 6 桁のパスワードを入力してください。詳細は、24 ページの " パスワード機能の使い方 " を参照してください。
5. 接続されているすべての機器の電源をオンにします。
プロジェクタは入力信号の検索を開始します。スキャンされている入力ソースがスクリーン中央に表示されます。入力ソース信号が検出されるまで検出メッセージが表示され続けます。

   プロジェクタかリモコンの SOURCE ボタンを押すと、別の信号の選択バーとスイッチが表示されます。詳細は、25 ページの " 入力信号の切り替え " を参照してください。

☞ **入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクタの動作範囲を超えた場合、「対応範囲外」というメッセージが消画スクリーンに表示されます。入力信号をプロジェクタの解像度と互換性があるものに変更するか、入力信号の設定を低くしてください。詳細は、53 ページの " タイミングチャート " を参照してください。**

パスワード機能の使い方

セキュリティのため、および許可されていないユーザーがプロジェクタを勝手に使用できないように、このプロジェクタにはパスワードを設定することができます。パスワードはオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで設定します。オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの操作方法については、36 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。

⚠ **パスワード機能を有効にしたにも関わらず、パスワードを忘れてしまうと面倒なことになります。(必要であれば) 本書を印刷し、設定したパスワードを本書に書き留めておき、安全な場所に保管しておいてください。**

パスワードの設定

☞ **一度パスワードを設定して有効にすると、プロジェクタを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクタを使用することはできなくなります。**

1. OSD メニューを開き、**詳細セットアップ** > **パスワード** メニューを選択してください。ENTER を押してください。
2. **パスワード**を選択し、◀ **左**または ▶ **右**を押して**オン**を選択してください。
3. 画面にプロンプトが表示されます。
4. 右図に示す通り、4 個の矢印ボタン (▲ **上**、▶ **右**、▼ **下**、◀ **左**) はそれぞれ 4 つの数字 (1、2、3、4) に相当します。矢印ボタンを押して 6 桁のパスワードを入力してください。
   パスワードが設定されると、OSD メニューはパスワードページに戻ります。



⚠ **重要 : 入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。**

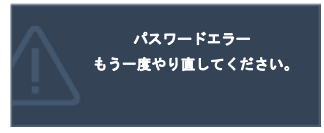
パスワード : _ _ _ _ _ _

本書は安全な場所に保管しておいてください。

5. EXIT を押すと前のページに戻り、MENU を押すと OSD メニューを終了します。

パスワードを忘れた場合

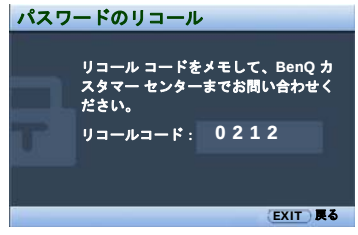
パスワード機能を有効にすると、プロジェクタをオンにするたびに 6 桁のパスワードを入力するよう要求されます。間違ったパスワードを入力すると、右図のようなパスワードエラーメッセージが 3 秒間表示され、次にパスワードの入力 (パスワードを入力してください) というメッセージが表示されます。別の 6 桁のパスワード上を押してもう一度やり直してください。またはパスワード忘れてしまい、さらに本書にパスワードを記録しておかなかった場合は、パスワードの呼び戻し手続きを行ってください。詳細は、24 ページの " パスワードの呼び戻しを行うには " を参照してください。



パスワード入力を続けて 5 回間違えると、プロジェクタは間もなく自動的にシャットダウンします。

パスワードの呼び戻しを行うには

プロジェクタかリモコンの MODE を押します。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。番号を書き留めて、プロジェクタをオフにしてください。番号をデコードするには、お近くの BenQ サービスセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクタを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。



パスワードの変更

1. OSD メニューを開き、**詳細セットアップ** > **パスワード** メニューを選択してください。ENTER を押してください。
2. **パスワードの変更**を選択します。ENTER を押してください。
3. **現在のパスワードの入力**というメッセージが表示されます。古いパスワードを入力してください。
   i. パスワードが正しければ、**新しいパスワードの入力**というメッセージが表示されます。
   ii. パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが 3 秒間表示され、**現在のパスワードの入力**というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。EXIT を押してパスワードをクリアし、6 桁のパスワードを再入力するか、前のページにもどることができます。
4. 新しいパスワードを入力します。

⚠ **重要：入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。**

パスワード：＿＿＿＿＿＿

本書は安全な場所に保管しておいてください。

5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
6. プロジェクタに新しいパスワードが割り当てられました。次回プロジェクタを起動したときには、必ず新しいパスワードを入力してください。
7. EXIT を押すと前のページに戻り、MENU を押すと OSD メニューを終了します。

パスワード機能を無効にする

パスワードを解除する：

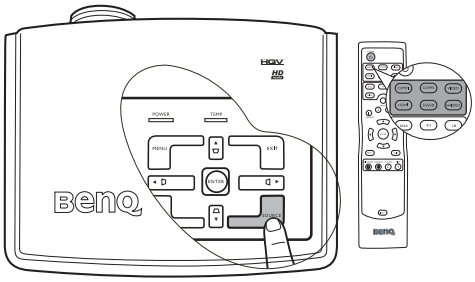
1. OSD メニューを開き、**詳細セットアップ** > **パスワード** > **パスワード**メニューを選択します。
2. ◄ **左**または ► **右**を押して**オフ** を選択してください。**パスワードの入力**というメッセージが表示されます。
3. 現在のパスワードを入力してください。
   i. パスワードが正しければ、OSD メニューのパスワードページで「パスワード」の欄が **オフ**の状態で表示されます。次回プロジェクタをオンにするときには、パスワードを入力する必要はありません。
   ii. パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが 3 秒間表示され、**パスワードの入力**というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、EXIT を押してください。

☞ **パスワード機能を無効にしても、再びパスワード機能を有効にするときに古いパスワードを入力するよう要求されますので、古いパスワードは忘れないように記録し保管しておいてください。**

入力信号の切り替え

このプロジェクタは同時に複数の装置と接続することができます。ただし一度に表示できる装置は 1 台です。

- 個々の入力信号を選択するには、リモコンの SOURCE ボタンを押します。
- 有効なソースを順番に切り替えるには、プロジェクタの SOURCE ボタンを押すと、ソース選択バーが表示されます。任意の信号が選択されるまで ▲ または、▼ を続けて押し、次に ENTER を押してください。プロジェクタに複数の装置が接続されている場合は、再びこのキーを押して別の信号を検出することができます。



自動ソース検索を有効にする

プロジェクタに信号を自動検出させるには、**システム設定** メニューで**自動ソース探知**機能が有効になっていることを確認してください。**システム設定** > **自動ソース探知**メニューに進み、◄ **左**または ► **右**を押して**オン**を選択してください。するとプロジェクタが信号を検出するまで入力信号をスキャンしつづけます。この機能が有効になっていない場合は、最後に使用した入力信号が選択されます。

ソースの高速検出

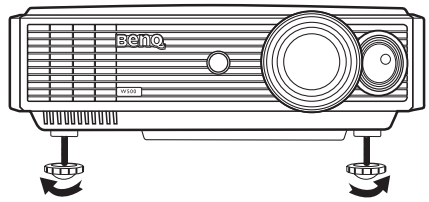
使用していないソースをブロックすると、ソースの検出作業をスピードアップさせることができます。

1. **詳細セットアップ** > **ソースブロック** メニューに進み、ENTER を押します。
2. ▲ **上**または ▼ **下**を使って、入力ソースを選択します。
3. ◄ **左**または ► **右**を使って、**検索** するか、または **スキップ** するかを決定します。
4. 任意の設定ができるまで、ステップ 2 と 3 を繰り返してください。
5. EXIT/MENU を押してメニューを終了し、設定を保存します。

☞ **一度にすべてのソースをブロックすることはできません。**

投写イメージの調整

投写角度の調整



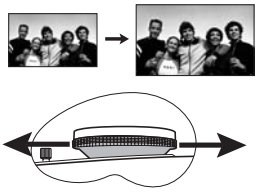
プロジェクタの底面には２個のアジャスタフットが備え付けられています。これらは投写角度を変更する必要がある場合に使用します。適切な角度になるようにフットを調整してください。

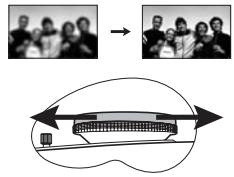
投写レンズの横にあるレンズシフトレバーは、投写画像の位置を決定するのに便利です。詳細は、18 ページの " 投写レンズのシフト " を参照してください。

☞ **スクリーンとプロジェクタが互いに垂直でない場合、投写イメージは縦方向に台形になります。このような問題を補正する方法については、26 ページの "2D キーストーン補正 " を参照してください。**

画像サイズと明瞭さの微調整

1. 投写されたイメージのサイズを調整するには、2. 次にピントリングを回して焦点を合わせます。ズームリングを使用します。

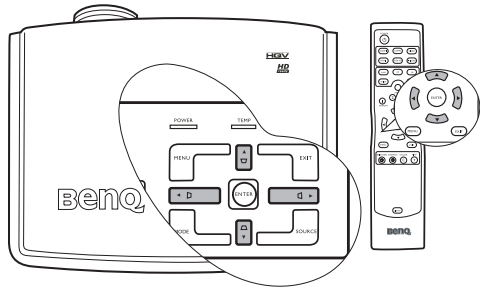




2D キーストーン補正

キーストーンはプロジェクタがスクリーンに対して垂直に設置されていないため、投写画像が次のいずれかのように台形状に表示されるときに発生します。

- 2 つの平行する辺 (左と右、または上と下) が、片方がもう片方よりも明らかに長い。
- 辺が平行になっていない。



画像の形状を補正するには、次の手順にしたがってください。

1. 投写角度を調整してください。プロジェクタをスクリーンの手前中央に配置し、レンズの下側をスクリーンの上端または下端に合わせてください。
2. それでも画像が歪んでいる場合、あるいはプロジェクタを上記のように設置できない場合は、これらのステップの 1 つを行い、手動で補正する必要があります。
   - プロジェクタかリモコンの**キーストーン / 矢印**ボタン (▽ /▲、▷/◀、△/▼、◁/▶) を押して、2D キーストーン補正ページを表示します。補正したい歪みに近いキーストーンアイコンを持つボタンを押します。例えば、**上**ボタン (▽ /▲) を押すと、画像の上部が広がり、下部が狭くなります。画像が正しく表示されるまで、同じボタンか別のボタンを押して調整を続けてください。
   - プロジェクタかリモコンの MENU を押します。**ディスプレイ > キーストーン**メニューに進み、ENTER を押します。**2D キーストーン**を選択し、ENTER を押すとキーストーン補正ページが表示されます。補正したい歪みに近いキーストーンアイコンを持つ、プロジェクタかリモコンの**キーストーン / 矢印**ボタン (▽ /▲、 /◀、△/▼、◁/▶) を押します。画像が正しく表示されるまで、同じボタンか別のボタンを押して調整を続けてください。



ボタンを押している間、ページの下部分の値が変わります。ボタンを繰り替えし押すうちに、その最高値または最低値に達すると、画像の形状が変化しなくなります。それ以上はその方向に変更を加えることはできません。

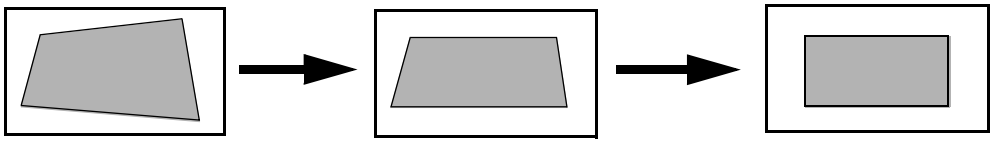
- 2 つの平行する辺 (左と右、または上と下) が、片方がもう片方よりも明らかに長い。



- **下部を広げるには、△ / ▼ を押すか、**
- **ディスプレイ > キーストーンメニューに進んでください。2D キーストーン補正ページに進み、画像が正しく表示されるまで △ /▼ を押してください。**

- **上部を広げるには、▽ /▲ を押すか、**
- **ディスプレイ > キーストーンメニューに進んでください。2D キーストーン補正ページに進み、画像が正しく表示されるまで ▽ /▲ を押してください。**

- 辺が平行になっていない



1. **左部を広げるには、▷ /◀ を押すか、**
2. **ディスプレイ > キーストーンメニューに進んでください。2D キーストーン補正ページに進み、▷/◀ を押してください。**
3. **上部を広げるには、画像が正しく表示されるまで ▽ /▲ を押してください。**
4. **EXIT/MENU を押してメニューを終了し、設定を保存します。**

台形ひずみと樽状ひずみの補正

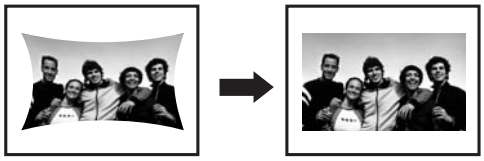
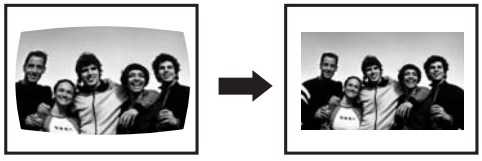
投写面に凹凸があると、投写画像が台形状または樽状に歪む場合があります。

- **台形ひずみ**
  中央に向かって横の線と縦の線が内側に歪むことです。歪みは画像の四隅に最も顕著に見られます。
- **樽状ひずみ**
  画像の端に向かって横の線と縦の線が外側に歪むことです。歪みは画像の四隅に最も顕著に見られます。

画像の形状を補正するには、次の手順にしたがってください。

1. プロジェクタかリモコンの MENU を押します。**ディスプレイ** > **キーストーン** メニューに進み、**ピンクッション補正**を選択します。
2. 画像が正しく表示されるまで、◄ **左**または ► **右**を押して調整を続けてください。

ボタンを押すたびに、ページの調整バーの値が変わります。ボタンを繰り替えし押すうちに、その最高値または最低値に達すると、画像の形状が変化しなくなります。それ以上はその方向に変更を加えることはできません。

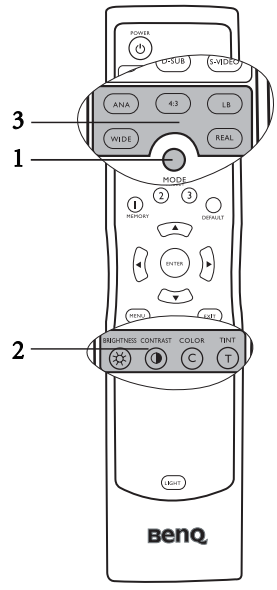
• **台形ひずみ** 	**1. ディスプレイ > キーストーンメニューに進んでください。** **2. ピンクッション補正を選択し、画像が正しく表示されるまで◁/► を押して調整を続けてください。**
• **樽状ひずみ** 	**1. ディスプレイ > キーストーンメニューに進んでください。** **2. ピンクッション補正を選択し、画像が正しく表示されるまで▷/◄ を押して調整を続けてください。**

画像の最適化

イメージを最適化するにはリモコンかオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを使用します。オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの操作方法については、36 ページの " メニューの使用方法 " を参照してください。

次の手順は任意で行ってください。必ずしもすべての手順に従う必要はありません。画質の状態によって調整を行ってください。

1. 画像モードの選択



リモコンで画像モードを選択するか、**ピクチャ -- 基本設定** > **プリセットモード**メニューで画像モードを選択します。任意のモードを選択できるまで、コントロールパネルかリモコンで MODE を押します。それぞれの信号に対して 7 つのモードがあります。これらのモードには次に説明する通り、各投写状況に合わせて値がプリセットされています。

- **ダイナミックモード**：イメージの輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています (プロジェクタを明るい部屋で使用する場合など)。
- **シネマ モード**：彩度とコントラストは最適なバランスが得られますが、明度は低くなります。この設定は、全くの暗室 (例：映画館) でムービーを楽しむのに適しています。
- **標準モード**：シネマ モードよりも若干明るく、照明が暗い室内での使用に適しています。
- **写真モード**：リビングルームでデジタル画像を見るのに最適なモードです。
- **ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モード**：カスタム設定を呼び出します。詳細は、29 ページの " ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モードの設定 " を参照してください。これら 3 つのモードはリモコンの MEMORY 1/2/3 ボタンを押しても直接選択できます。

☞ **プリセットの画像モードの画質に満足できない場合は、ピクチャ -- 基本設定およびピクチャ -- 詳細設定メニューから設定を手動で調整することができます。詳細は、37 ページの " ピクチャ -- 基本設定メニュー " と 38 ページの " ピクチャ -- 詳細設定メニュー " を参照してください。**

ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モードの設定

現在有効な画像モードがニーズに合わない場合は、3 つのユーザー設定モードを使用することができます。画像モードの 1 つ (ユーザー 1/2/3 を除きます) を参照値として、設定をカスタマイズすることができます。

1. **ピクチャ -- 基本設定 > ピクチャ モード**メニューに進みます。
2. ◀ **左**または ▶ **右**を押して、**ユーザー 1**、**ユーザー 2**、**ユーザー 3** のいずれかを選択してください。
3. ▼ **下**を押して**設定のロード元** をハイライトし、ENTER を押します。
4. ▲ **上**または ▼ **下**を押して必要に最も合った画像モードを選択し、ENTER を押します。
5. EXIT を押して前のページに戻り、▼ **下**を押して変更したいメニューアイテムを選択した後、◀ **左**または ▶ **右**を使って値を調整します。
6. または EXIT を押して ▶ **右**を押し、**ピクチャ -- 詳細設定**メニューに進み画像設定の調整を続けることもできます。詳細は、30 ページの " 画質の詳細設定 " を参照してください。

ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モード名の変更

ユーザー定義モードに別の名前を付けるには、次の手順にしたがってください。

1. **ピクチャ -- 基本設定 > ユーザー モード名の変更**メニューに進み、ENTER を押します。
2. ▲ **上**または ▼ **下**を押して**ユーザー 1**、**ユーザー 2**、**ユーザー 3** のいずれかを選択し、ENTER を押します。
3. ◀ **左**または ▶ **右**を押して文字の位置を選択します。
4. ▲ **上**または ▼ **下**を押して、この位置に文字または数字を割り当てます。▲ **上**を押すとアルファベット順に文字が表示され、▼ **下**を押すと逆の順番で文字が表示されます。大文字、小文字、0 から 9 までの数字、スペースなどを選択できます。
5. 新しい名前を入力できるまで、ステップ 3 と 4 を繰り返してください。

☞
- **最高長は 12 桁です。**
- **最初にスペースを使用することはできません。**

6. 名前を入力できたら、ENTER を押して設定を保存してください。

2. 画質の調整

明るさ、コントラスト、色、色合い、シャープネスなどの設定は、**ピクチャ -- 基本設定**メニューやリモコンを使って行います。詳細は、37 ページの " ピクチャ -- 基本設定メニュー " を参照してください。

☞
- **ピクチャ -- 基本設定メニューのすべての設定は変更後直ちに有効となり、選択した画像モードに保存されます。**
- **画像調整によっては、特定の入力ポートが使用中の場合にのみ有効となります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。**

3. 縦横比の選択

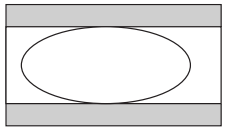
縦横比とは、イメージの幅と高さの比率のことです。ほとんどのアナログ TV 電波とコンピュータは 4:3 の縦横比であり、デジタル TV や DVD は通常 16:9 です。

デジタル信号処理能力が進化するにつれ、このプロジェクタのようなデジタルディスプレイ装置はイメージ出力をイメージ入力ソースとは異なるアスペクトにまで拡張できるようになりました。画像全体が均等に引き伸ばされるように画像はリニア方式で引き伸ばすことができます。非リニア式を使用すると、画像が歪みます。

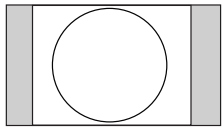
投写画像の比率はリモコンの縦横比ボタンを使用するか、**ディスプレイ > 縦横比** OSD メニューで変更できます (どのようなソースの縦横比でも可能です)。ビデオ信号のフォーマットとディスプレイの条件に合わせて適切な縦横比を選択してください。５種類の縦横比の中から選択できます。

☞ **下の図では黒い部分が無効になったエリアで、白い部分が有効なエリアです。**

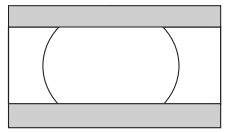
1. **アナモフィック** : (リモコンには「ANA」と表示されています) スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。



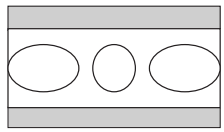
2. **4:3** : スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。



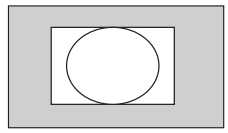
3. **レター ボックス** : (リモコンには「LB」と表示されています) レター ボックスのサイズに合わせてイメージを拡大し、16:9 の縦横比で全画面に表示します。イメージの上部および下部が切り取られます。



4. **ワイド** : 4:3 画像は 16:9 フルスクリーン表示に合わせて、非リニア的に横方向に拡大されます。つまり画像の左右部分のみが引き伸ばされ、中央部分はそのまま変更されません。



5. **実寸** : スクリーンの中央に表示されているイメージのスケールを変更せずに、入力信号で 1 対 1 マッピングが行われます。



アナモフィック設定は、縦と横のサイズを別々に処理することを除き、画像をリニア方式で引き伸ばし、リサイズします。ソース画像の高さと幅はそれぞれ投写高と投写幅の最大値まで引き伸ばされます。この方法では、元のソース画像の縦横比によっては投写縦横比が変わる場合があります。アナモフィックの設定は、縦横比を変更する必要がないため高精度 TV など、すでに縦横比が 16:9 になっている画像に適しています。

4:3 設定は、縦横比を変更せずにすむため、標準精度の TV、縦横比 4:3 の DVD ムービーなどの 4:3 画像に適しています。

レター ボックス設定は、縦横比 4:3 の幅から縦横比 16:9 の幅へ画像の縦と横の比率を維持しながらリサイズし、スクリーンの中央に表示します。この場合、高さが高くなるため画像の上部と下部の一部が切れてしまいます (表示されません)。この設定はレター ボックスフォーマットで表示されるムービーを見るのに適しています (上下に黒いバーが表示されます)。

ワイド設定は非リニア方式で画像を横方向に引き伸ばします。つまり画像の中央部が歪むのを防止するために、画像の端が画像の中央よりも外側に引き伸ばされます。この設定は縦横比 4:3 の画像の幅を 16:9 スクリーンの幅に引き伸ばしたい場合に適しています。この場合、高さは変更されません。ワイドスクリーン ムービーの中には、その幅が 4:3 の幅まで縮小されているものがあり、Wide 設定を使用することにより元の幅に戻して鑑賞することができます。

実寸設定は投写中央部を変更またはリサイズすることなく、1 対 1 のピクセルマッピングで画像を表示します。この設定は PC や RGBHD ソース入力に適しています。

画質の詳細設定

ピクチャ -- 詳細設定メニューには、より細かくユーザー定義できる機能があります。

☞ **ピクチャ -- 詳細設定メニューのすべての設定は変更後直ちに有効となり、選択した画像モードに保存されます。**

黒レベルの設定

1. **ピクチャ -- 詳細設定**メニューに進み、**黒レベル**を選択します。
2. ◀ **左**または ▶ **右**を押して、**0 IRE** または **7.5 IRE.** を選択してください。

グレイスケールのビデオ信号は IRE ユニットで測定されます。NTSC TV 規格を使用するエリアでは、グレイスケールを 7.5 IRE (黒) から 100 IRE(白) で測定する場合がありますが、PAL 規格を使用するエリアや、日本の NTSC 規格を使用するエリアでは、グレイスケールは 0 IRE (黒) から 100 IRE (白) で測定します。入力ソースが 0 IRE または 7.5 IRE のどちらを使用するかを確認した上で、正しい選択を行ってください。

明瞭さの調整

1. **ピクチャ -- 詳細設定**メニューに進み、**透明度調整**を選択します。
2. ENTER を押してください。
3. ▲ **上**または ▼ **下**を押して次の機能のいずれかを選択し、◀ **左**または ▶ **右**を押して設定を調整します。
   - **ノイズ縮減**：イメージの電子ノイズを縮減します。値を高くするほどノイズが少なくなります。
   - **詳細拡張設定**：値を高くするほど、画像の詳細がよりはっきりとします。
   - **ルマ転送**：輪郭を強調します。値を高くするほど、効果が高くなります。
   - **クロマ転送**：色のぼかしを縮減します。値を高くするほど、効果が高くなります。
4. 画像が明瞭になるまでステップ 3 を繰り返してください。

色温度の選択

1. **ピクチャ -- 詳細設定**メニューに進み、**色温度**を選択します。
2. ◀ **左**または ▶ **右**を押して、次の設定の中からいずれか 1 つを選択してください。
   - **ランプ ネイティブ**：工場出荷時の色温度と高めの輝度です。この設定は、輝度を明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクタを使って明るい部屋でスライドを見る場合など）。
   - **高い**：画像を赤みがかった白で表示します。
   - **標準**：白の色合いを通常に保ちます。
   - **低い**：色温度を最高にして、画像を青みがかった白で表示します。
   - **ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3**：**色温度の微調整**メニューでカスタマイズした設定を呼び出します。詳細は、31 ページの " 色温度の設定 " を参照してください。

☞ **色温度について：**

用途に応じて「白」とみなされる色合いが多数存在します。白色を表すためによく使用される方法の 1 つに「色温度」があります。色温度の低い白色は赤みがかった白で表示されます。色温度の高い白色は青みがかって表示されます。

色温度の設定

☞ **この機能は色温度が ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 として設定されている場合にのみ使用可能となります。**

1. **ピクチャ -- 詳細設定**メニューに進み、**色温度**を選択します。
2. ◀ **左**または ▶ **右**を押して、**ユーザー 1**、**ユーザー 2**、**ユーザー 3** のいずれかを選択してください。
3. ▼ **下**を押して、**ユーザー 1/2/3 の色温度の微調整**を選択します。
4. ▲ **上**または ▼ **下**を押して、へ高したいアイテムを選択し、◀ **左**または ▶ **右**を押して設定を調整します。
   - **赤を強調**：赤のコントラストレベルを調整します。
   - **緑を強調**：緑のコントラストレベルを調整します。
   - **青を強調**：青のコントラストレベルを調整します。
   - **赤オフセット**：赤の輝度レベルを調整します。
   - **緑オフセット**：緑の輝度レベルを調整します。
   - **青オフセット**：青の輝度レベルを調整します。
5. EXIT/MENU を押してメニューを終了し、設定を保存します。

色管理

教室、会議室、ラウンジなど照明が常にオンになっている場所や、外窓から日光が差し込む部屋など、ほとんどの状況では色管理は必要ありません。

重役会議室、レクチャシアター、ホームシアターなど、照明レベルを調整できる場所に設置した場合に限り、色管理が必要となります。

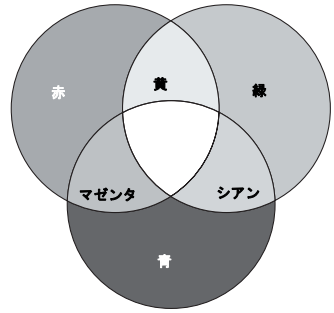
適切な色管理は、操作および管理された状況でのみ行うことができます。この場合、色を測定するために色彩計を使用する必要があり、いくつかの適切なソース画像が必要です。これらのツールはプロジェクタには付いていませんが、販売店や経験豊富な技術者にお尋ねになると入手できるはずです。

色管理では、6 色 (RGBCMY) を調整することができます。それぞれの色を選択すると、その色の範囲と彩度を個別に自在に調整することができます。

さまざまな色テストパターンが含まれたテストディスクを購入された場合は、モニタ、TV、プロジェクタなどでの色表示をテストすることができます。ディスクに保管された画像ならどれでもスクリーンに投写ことが可能であり、色管理メニューで調整することができます。

設定を調整するには :

1. **ピクチャ -- 詳細設定**メニューに進み、**色管理**を選択します。
2. ENTER を押して、色管理ページに入ります。
3. **原色**を選択して、◄ **左**または ► **右**を押して赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの中から色を選択します。
4. ▼ を押して**範囲**を選択し、◄ **左**または ► **右**を押してその範囲を選択してください。範囲を広げると、それに隣り合う 2 つの色も含まれます。各色がどのように関連し合っているかについては、右図を参照してください。
   例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、投写画像の中で純粋な赤だけが選択されます。範囲を広げると、黄に近い赤やマゼンタに近い赤も含まれます。
5. ▼ を押して**彩度**を選択し、◄ **左**または ► **右**を押してその値を調整してください。調整した値は直ちに画像に反映されます。
   例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、純粋な赤の彩度だけが影響を受けます。
6. 他の色管理も行う場合は、ステップ 3、4、5 を繰り替えしてください。
7. すべて調整が完了したことを確認してください。まだ結果に満足できない場合は、**ピクチャ -- 基本設定 > ピクチャ設定をリセット**メニューに進み、値を工場出荷時の状態に戻してください。
8. EXIT/MENU を押してメニューを終了し、設定を保存します。



ブルーフィルタの有効化

色調整を行った後は、テストディスクからカラーバー テスト画像を投写し、カラーフィルタを介して見る代わりにブルーフィルタを有効にして彩度レベルをテストしてください。ブルーフィルタを有効にすると、赤と緑のチャネル出力はすべて無効になり、青だけがスクリーンに表示されます。他の色の精度を確認する方法については、テストディスクの説明を参照してください。

ブルーフィルタを有効にする :

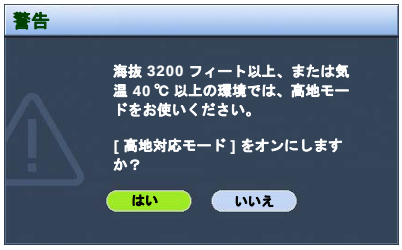
1. **ピクチャ -- 詳細設定**メニューに進み、**ブルーフィルタ**を選択します。
2. ◄ **左**または ► **右**を押して、ブルーフィルタをオン / オフにします。設定の変更内容は直ちに画像に反映されます。

高地での操作

海抜 3200 フィート以上、または気温 40ºC 以上の環境でこのプロジェクタを使用する場合は、高地モードに設定されるようお薦めします。

高地モードを有効にする：

1. MENU を押して OSD メニューを有効にし、◄ **左**または ► **右**を押して**詳細セットアップ** を選択します。
2. ▲ **上**または ▼ **下**を押して、**高地モード**を選択します。
3. ◄ **左**または ► **右**を押して、**オン**を選択します。
4. 確認のメッセージが表示されます。**はい** をハイライトして、ENTER を押します。



高地モードを選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。

上記の場合を除き、その他の極限環境でプロジェクタを使用すると、プロジェクタが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクタを過熱から保護するために設置された機能です。このような場合は、高地モードに切り替えてみてください。これは、このプロジェクタが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。

投写画像の詳細を表示する

投写画像で詳細を表示するには、次の手順にしたがってください。

1. **ディスプレイ** > **デジタル ズーム**メニューを選択します。
2. プロジェクタかリモコンで ◄ **左**または ► **右**を押して、適当なサイズになるまで画像を拡大してください。画像は最高 300% まで拡大できます。
3. ▼ **下**を押して**パン**を選択し、ENTER を押すと、パンページが表示されます。
4. プロジェクタかリモコンの**キーストーン / 矢印**ボタン（ ▱ /▲、▱/◄、▱ /▼ 、▱/►）を押して、画像を探してください。
5. EXIT を押して前のページに戻ります。
6. 画像を元のサイズに戻すには、**ディスプレイ** > **デジタルズーム** メニューに進み、◄ **左**を押して画像サイズを縮小してください。

オリジナルのスタートアップ画面を作成する

スタートアップ画面はプリセットの BenQ ロゴと青いスクリーンが用意されていますが、これら以外にもコンピュータやビデオソースからプロジェクタに画像を投写することによって、ユーザー自身のスタートアップ画面を作成することができます。

1. スタートアップ画面として使用したい画像をコンピュータかビデオソースから投写してください。
2. **システム設定** > MyScreen メニューに進み、ENTER を押します。
3. 確認のメッセージが表示されます。そこで再び ENTER を押してください。
4. プロジェクタが画像を処理している間、**画面のキャプチャ**というメッセージが表示されます。処理が完了するまでお待ちください。
5. 処理が完了すると、**キャプチャが完了しました**というメッセージが表示されます。キャプチャした画像は MyScreen として保存されます。
6. キャプチャした画像をスタートアップスクリーンとして表示された状態を見るには、**システム設定** > **起動画面** メニューで MyScreen を設定し、プロジェクタを再起動します。

まれにキャプチャに失敗することがあります。ターゲット画像を変更してください。

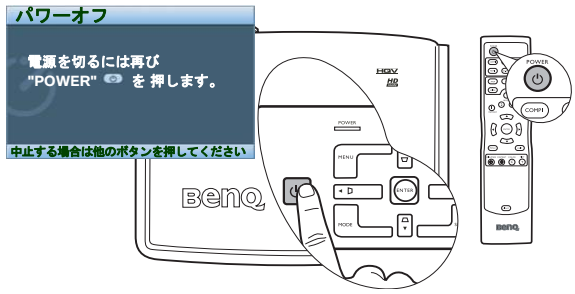
プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは自由に変えることができます。これらの設定は投写設定、操作、性能には影響しません。

- **システム設定**メニューの**言語**では、オン スクリーン ディスプレイメニューの言語を選択します。
- プロジェクタの**背景色**は**システム設定**メニューで黒、白、紫の中から選択できます。
- **システム設定** > **メニュー設定**メニューの **メニュー表示時間**では、最後のボタンを押してから OSD が有効になったままの状態を維持しておく時間を設定します。
- **システム設定** > **メニュー設定**メニューの **メニュー位置**ではスクリーン上における OSD の位置を設定します。

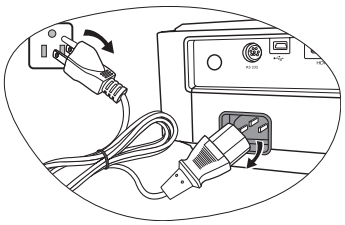
終了

1. プロジェクタかリモコンの **電源**ボタンを押すと、警告メッセージが表示されます。もう一度 **電源**を押すと、プロジェクタの電源がオフになります。
2. 電源インジケータライトがオレンジ色に点滅して、ランプが消灯した後、プロジェクタを冷却するためにファンが約 140 秒間動作を続けます。



⚠ **ランプを保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクタはいかなるコマンドにも反応しません。**

3. その後、冷却が完了してファンが停止したら、電源インジケータライトがオレンジ色に点灯します。
4. 電源コードをコンセントから抜きます。



6 メニュー

オン スクリーン ディスプレイ (OSD) の構造



情報	ソース
	ピクチャ モード
	解像度
	ランプ時間 (標準)
	ランプ時間 (省電力)
	ランプ残りレート
	ダストフィルタ使用時間

☞ **装置が何も接続されていなかったり、信号が検出されない場合は、特定のメニューアイテムにしかアクセスできません。**

メニューの使用方法

プロジェクタは、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。メニュー言語は 17 ヶ国語用意されています。詳細は、39 ページを参照してください。

以下は英語の OSD メニューの概要です。



次の例では、キーストーンの調整を説明しています。

1. プロジェクタかリモコンの MENU を押して、OSD メニューをオンにします。



2. **◀ 左 / ▶ 右**を使って、**ディスプレイ**メニューを選択します。
3. **▲ 上 / ▼ 下**を押して**キーストーン**を選択します。



4. ENTER の後、**▲ 上 / ▼ 下**を押して、**2D キーストーン** を選択します。



5. ENTER を押してキーストーン補正ページを表示します。



6. 画面に表示される画像の形状によって、キーストーンボタン (▽ / **▲ 上**、▷ / **◀ 左**、△ / **▼ 下**、◁ / **▶ 右**) を押して画像が矩形または正方形になるように調整してください。
7. プロジェクタかリモコンで EXIT/MENU を押して、設定を保存して終了します。

ピクチャ -- 基本設定メニュー

ピクチャ -- 基本設定メニューでは、投写画像の品質を詳細に調整することができます。

調整を行う前に、このメニューで異なる照明環境とプレゼンテーションの目的に適応できるような値を持った画像モードを選択してください。

機能（デフォルト設定 / 値）	説明
ピクチャ モード **(D-sub (アナログ RGB)/ HDMI：標準、** **S ビデオ / コンポーネント / ビデオ：標準)**	画像モードを利用すると、ご使用のプログラムタイプに最適なプロジェクタのイメージを設定することができます。詳細は、28 ページの "1. 画像モードの選択 " を参照してください。
設定のロード元	設定をプリセット画像モードや 3 つのユーザーモードのいずれかから読み込みます。この機能は画像モードが ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 として設定されている場合にのみ使用可能となります。詳細は、29 ページの " ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モードの設定 " を参照してください。
輝度（50）	イメージの輝度を調整します。値を高くするほどイメージの輝度が増加します。逆に値を低くするほどイメージは暗くなります。このコントロールを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。 
コントラスト (50)	イメージの明るさと暗さの差を調整します。値を高くするほどコントラストが増加します。 
色（50）	イメージの色強度を増減します。値を高くするほど色がより鮮明で明るくなります。
色合い（0）	イメージの色調を調整します。値を高くするほど緑がかったイメージになります。値を低くするほど紫がかったイメージになります。
シャープネス（0）	画像のシャープネスを調整します。値を高くするほど画像がシャープになります。
ピクチャ設定をリセット	現在の画像モードの画像設定を工場出荷時の値に戻します。 **ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 の名前が変更されている場合は、変更後の新しい名前がそのまま維持されます。**
ユーザー モード名の変更	ユーザー 1/2/3 を別の名前に変更します。詳細は、29 ページの " ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3 モード名の変更 " を参照してください。

ピクチャ -- 詳細設定メニュー

ピクチャ -- 詳細設定メニューでは、投写画像の品質を詳細に調整することができます。

機能（デフォルト設定 / 値）	説明
黒レベル (0 IRE)	詳細は、30 ページの " 黒レベルの設定 " を参照してください。
透明度調整	詳細は、31 ページの " 明瞭さの調整 " を参照してください。
色温度	詳細は、31 ページの " 色温度の選択 " を参照してください。
色温度微調整	詳細は、31 ページの " 色温度の設定 " を参照してください。
色管理	詳細は、32 ページの " 色管理 " を参照してください。
ダイナミック IRIS (オン)	ダイナミック IRIS の**オン**と**オフ**を切り替えます。
カラー スペース転送 (デフォルト)	YUV カラーエンコーディング システムを使用する、特定のヨーロッパの TV セットアップボックスでは、◄ **左**または ► **右**を押して、画像が正常に表示されるように **YUV** を選択してください。
ブルーフィルタ (オフ)	詳細は、32 ページの " ブルーフィルタの有効化 " を参照してください。

ディスプレイメニュー

プロジェクタが画像を表示する方法を指定します。

機能（デフォルト設定 / 値）	説明
縦横比（アナモフィック）	入力信号に応じて選択できるように、いくつかの縦横比が用意されています。詳細は、29 ページの "3. 縦横比の選択 " を参照してください。
キーストーン（0）	投写角度が原因で生じる台形歪みや、画像のひずみを補正します。 • 2D キーストーン（0）：イメージのキーストーンを補正します。詳細は、26 ページの "2D キーストーン補正 " を参照してください。 • ピンクッション補正 (0)：画像のピンクッションを補正します。詳細は 27 ページの " 台形ひずみと樽状ひずみの補正 " を参照してください。
位置（0）	位置調整ページが開きます。投写画像を移動させるには、方向矢印ボタンを使用します。ページの下部に表示される値は、ボタンを繰り返し押すうちに、その最高値または最低値に達すると変化しなくなります。 ☞ **この機能は D-sub (アナログ RGB) 信号が選択されていなければ使用できません。**
オーバースキャン調整 (0)	画像をやや拡大および拡張させて、四辺に見られる明度の薄いエリアを除去します。
デジタルズーム (100%)	投写画像を拡大します。詳細は、33 ページの " 投写画像の詳細を表示する " を参照してください。

パン (中央)	投写画像の詳細を検出するためにパンページを表示します。画像を拡大した後で、プロジェクタかリモコンの方向矢印ボタンをお使いください。詳細は、33 ページの " 投写画像の詳細を表示する " を参照してください。
PC & コンポーネント YP_BP_R の調整	次の設定は PC または DTV RGB 信号でしか使用できません。 • 水平サイズ（0）：入力信号をキャプチャするサンプリングクロックの周波数を調整します。 • 位相 (0)：クロックの位相を調整します。 • 自動：位相と周波数を自動的に調整します。

システム設定メニュー

このメニューには基本的な画像設定のアイテムがあります。

機能（デフォルト設定 / 値）	説明
言語（English）	OSD メニューの言語を設定します。次の 17 ヶ国語が用意されています。英語 (デフォルト)、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語 (繁体字)、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、スウェーデン語、オランダ語、トルコ語、チェコ語、ポルトガル語、タイ語、ポーランド語
起動画面 (BenQ)	プロジェクタ起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。選択肢には以下の 3 つがあります。BenQ ロゴ、青いスクリーン、MyScreen。
MyScreen	投写画像を MyScreen としてキャプチャ、保存します。詳細は、33 ページの " オリジナルのスタートアップ画面を作成する " を参照してください。
プロジェクタの位置 (床面前面)	プロジェクタは、天井またはスクリーンの背後に設置したり、1 枚あるいは複数のミラーを使用して設置することができます。4 つのオプションがあります。プロジェクタを天井に設置する場合は、販売店に連絡して、天井取り付け用ブラケット (別売りアクセサリ) をお求めください。詳細は、14 ページの " 場所の選択 " を参照してください。
自動電源オフ (無効)	この機能は、最後にボタンを押してから一定時間以内に入力信号が検出されない場合、プロジェクタを自動的にオフにします。 自動電源オフ時間を設定するには、**システム設定 > 自動オフ**メニューを選択し、◄ **左**または ► **右**を押してください。時間は 5 分おきに 5 分から 30 分までの範囲で設定することができます。 ☞ **この設定は次回プロジェクタをオンにするまで維持されます。**
スリープタイマー (無効)	自動的にシャットダウンするまでのタイマーを設定します。タイマーは 30 分から 360 分までの範囲で設定できます。
背景色 (青)	入力信号が検出されないときに表示される、背景スクリーンの色を選択します。
メニュー設定	• メニュー表示時間 (10 秒)：ボタンを押してからの OSD の表示時間を設定します。5 ～ 30 秒の範囲で設定できます。 • メニュー位置 (中央)：OSD の水平および垂直位置を調整します。 • メニューの透過性 (0)：OSD の透明度を調整します。
入力ソース	入力信号を選択します。詳細は、25 ページの " 入力信号の切り替え " を参照してください。
自動ソーススキャン (オン)	プロジェクタで自動的に入力信号を検索するかどうかを設定します。詳細は、26 ページの " 自動ソース検索を有効にする " を参照してください。

詳細セットアップメニュー

機能（デフォルト設定 / 値）	説明
ランプ設定	• ランプ電源 (標準): プロジェクタかリモコンで ◄ **左**または ► **右**を押して、投写電力タイプを**標準**か**省電力**に設定してください。**エコ**モードに設定すると、システムノイズと電力消費量を最高で 20% 低減することができます。このモードを有効にすると出力されるライトが低減され、その結果投射画像が暗くなります。 ☞ **プロジェクタを常に省電力モードで使用すると、ランプタイマーの自動シャットダウン機能が延長されます。ランプの使用時間を計算する方法については、44 ページの " ランプの使用時間の計算 " を参照してください。** • ランプ時間 : i. ランプ時間 (標準) : 標準モードで使用したときのランプの使用合計時間を表示します。 ii. ランプ時間 (省電力) : 省電力モードで使用したときのランプの使用合計時間を表示します。 iii. ランプ残りレート : ランプの寿命をパーセンテージで表示します。 • ランプタイマーのリセット : ランプタイマーをリセットします。ランプタイマーのリセットは、ランプを交換した後にのみ行ってください。詳細は、45 ページの " ランプの交換 " を参照してください。
パターン	プロジェクタを設置するときには、入力信号がなくてもパターンをお使いください。 • グリッド : ENTER を押すとグリッドテストパターンが表示されます。これは投写画像が歪まないように、画像サイズやピントを調整するのに使用します。 • カラーバー : ENTER を押すとカラーバーテストパターンが表示されます。色調整を行った後、このテストパターンを使って色が正しく表示されているかどうかを確認することができます。
ダストフィルタ	• 使用時間 : フィルタの使用合計時間を表示します。 • ダストフィルタタイマーのリセット : ダストフィルタのタイマーをリセットします。ダストフィルタのリセットは、フィルタを交換した後にのみ行ってください。詳細は、43 ページの " フィルタを掃除するには : " を参照してください。
高地モード (オフ)	高温や高地など、極限環境でプロジェクタを使用するときのためのモードです。海抜 3200 フィート以上、または 40 ℃以上の環境でプロジェクタを使用する場合は、はいを選択されるようお薦めします。詳細は、33 ページの " 高地での操作 " を参照してください。

パスワード	• パスワード (オフ): パスワードを知っているユーザーのみプロジェクタを操作できるようにします。初めてこの機能を有効にするときに、パスワードを設定する必要があります。詳細は、24 ページの " パスワードの設定 " を参照してください。パスワードを設定し、この機能を選択すると、プロジェクタはパスワードで保護された状態になります。正しいパスワードを知らないユーザーはプロジェクタを操作することができません。パスワード入力はプロジェクタやリモコンのボタンを使って行ってください。 • パスワードの変更 : 新しいパスワードに変更する前に、現在のパスワードを入力するよう要求されます。詳細は、25 ページの " パスワードの変更 " を参照してください。
キーロック (オフ)	**電源**以外のプロジェクタのすべてのパネルキー機能と、リモコンのボタンを無効または有効にします。キーロックを解除するには、コントロールパネルかリモコンで EXIT を 5 秒間押したままにします。
ソースブロック	プロジェクタが入力信号を検出するときに、省略または検出したいソースを設定します。詳細は、26 ページの " ソースの高速検出 " を参照してください。
全設定をリセット	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。 ☞ **次の設定は現在の設定値のまま維持されます。位相、プロジェクタの位置、言語、パスワード、高地モード。**

情報メニュー

機能（デフォルト設定 / 値）	説明
ソース	現在の信号ソースを表示します。
ピクチャ モード	**ピクチャ -- 基本設定**メニューで選択したモードを表示します。
解像度	入力信号の解像度を表示します。
ランプ時間 (標準)	標準モードで使用したときのランプの使用合計時間を表示します。
ランプ時間 (省電力)	省電力モードで使用したときのランプの使用合計時間を表示します。
ランプ残りレート	ランプの寿命をパーセンテージで表示します。
ダストフィルタ使用時間	フィルタの使用合計時間を表示します。

7 メンテナンス

プロジェクタのお手入れ

ご使用のプロジェクタはほとんどメンテナンスの必要がありません。ユーザー自身で定期的に行う必要があるお手入れは、レンズの掃除とエアフィルタの掃除または交換のみです。ランプまたはエアフィルタを除き、プロジェクタの部品は一切取り外さないでください。プロジェクタが正常に作動しなくなった場合は、販売店かお近くの BenQ カスタマーサービスセンターへお問い合わせください。

レンズのクリーニング

表面の汚れやほこりが付いていたら、レンズをクリーニングします。レンズのクリーニングを開始する前に、プロジェクタの電源をオフにして電源コードを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。

1. 圧縮空気スプレーを使用してほこりを取り除きます。(ハードウェア販売店やカメラショップでご購入いただけます。)
2. 汚れやしみが付いた場合は、適切なカメラレンズブラシを使用するか、レンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭いてください。

⚠ **レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤やこすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。プロジェクタがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。**

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。

1. 保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。範囲については、マニュアルの仕様ページを参照するか、販売店にお問い合わせください。
2. アジャスタフットを格納します。
3. リモコンから電池を取り外します。
4. プロジェクタを元の梱包または同等の梱包にしまいます。

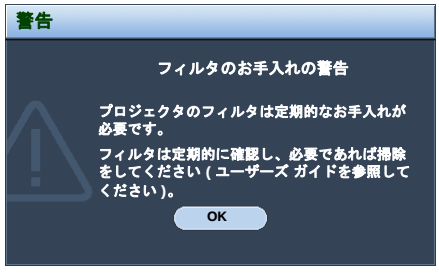
プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。ご自分で運ぶ場合は、携帯用ソフトケースを使用してください。

ダストフィルタのお手入れと取り替え

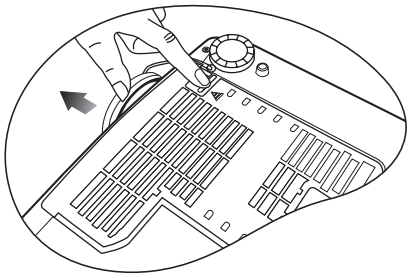
ダストフィルタは 1000 時間使用する毎に定期的なお手入れが必要です。フィルタの使用時間は、**詳細セットアップ** > **ダストフィルタ** > **ダスト フィルタ使用時間** メニューか、**情報** メニューで確認できます。フィルタが汚れていると汚れがこびり付き、適切な通気ができなくなります。これはプロジェクタの過熱や故障の原因となります。

プロジェクタのフィルタの汚れがひどい場合は、プロジェクタ内部が過熱する場合があります。プロジェクタがシャットダウンし、電源が切れる前に右のようなメッセージが表示されます。

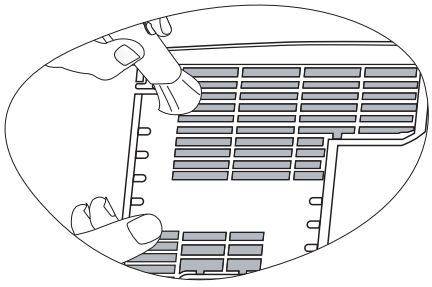


フィルタを掃除するには：

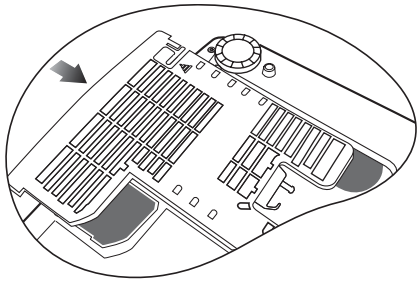
1. プロジェクタの電源をオンにすると、オフにして、ファンが停止するまでお待ちください。
2. プロジェクタからケーブルを外します。
3. プロジェクタを上下に裏返します。プロジェクタの低部からダストフィルタ グリルを引き出します。



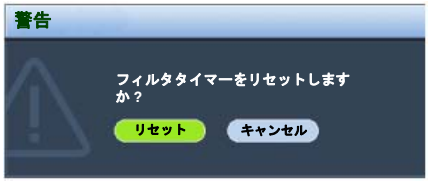
4. 小型掃除機 (コンピュータやオフィス装置用のもの) か、柔らかいブラシ (清潔なペイント用筆など) を使ってホコリを除去してください。
   - 汚れが落ちなかったり、フィルタが壊れたりした場合は、新しいフィルタに交換してください。



5. フィルタグリルをしっかりと装着します。



6. 電源を再び入れて、プロジェクタをオンにします。
   - フィルタグリルが正しく装着されていなければ、プロジェクタまたはリモコンの ENTER を押すまで 3 分毎に同じメッ セージが表示されます。
     フィルタの固定を確認してください。
   - そのまま何もしなければ、プロジェクタは 1 分以内に自動的に電源が切れます。フィルタを正しく装着し、その後で電源を入れてください。
7. ダストフィルタのタイマーのリセット
   i. MENU を押して OSD メニューを開きます。
   ii. **詳細セットアップ** > **ダストフィルタ**メニューに進み、ENTER を押します。
   iii. **ダスト フィルタ タイマーをリセット** を選択し、ENTER を押します。
   iv. ダストフィルタタイマーをリセットしても良いかどうかを質問するメッセージが表示されます。
   v. **リセット**を選択し、ENTER を押すとフィルタタイマーが 0 にリセットされます。



ランプについて

ランプの使用時間の計算

プロジェクタが作動している間、プロジェクタに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。ランプ時間の計算方法は次の通りです。

合計 (同等) ランプ時間

= 1 （省電力モードでの使用時間）+3/2（標準モードでの使用時間）

☞ **省電力モードについての詳細は、40 ページの " ランプ設定 " を参照してください。**

省電力モードでのランプ時間は標準モードの 2/3 として計算されます。つまりプロジェクタを省電力モードで使用すると、ランプ時間を 1/3 ほど延長することができます。

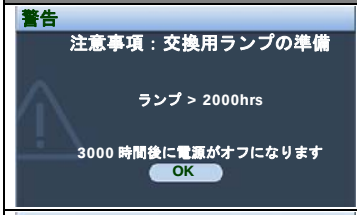
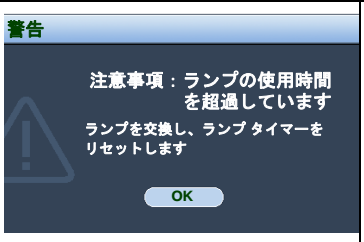
警告メッセージ

ランプインジケータが赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合は、新しいランプを取り付けるか、お買い上げの販売店にご相談ください。古いランプを使用すると、プロジェクタの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

プロジェクタの警告メッセージについての詳細は、47 ページの " インジケータ " を参照してください。

⚠ **ランプの温度が異常に高くなると、ランプインジケータライトおよび温度警告ライトが点灯します。この場合は、電源をオフにして 45 分間ほど放置し、プロジェクタを常温に戻してください。このようにしても電源をオンにしたときにランプインジケータまたは温度インジケータが点灯する場合は、販売店にご相談ください。**

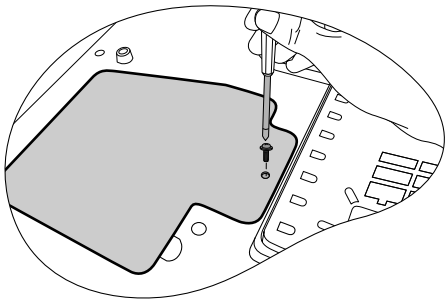
次のランプ警告が表示されたら、ランプを交換してください。

メッセージ	状態
	ランプの使用時間が 2000 時間に達しました。動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。
	ランプの使用時間が 2950 時間に達しました。新しいランプに交換しておくと、途中でランプが寿命で切れる不都合を避けられます。
	ランプの使用時間が 3000 時間に達しました。この時点でランプを交換されるよう強くお薦めします。ランプは消費アイテムです。使用時間が長くなると、ランプは徐々に明るさを失います。これは正常な現象です。ランプが非常に暗くなったら、いつでもランプを交換してください。ランプの使用時間が 3000 時間を超えたらランプを交換してください。
	この警告メッセージが表示されると、プロジェクタは 40 秒以内にシャットダウンします。プロジェクタを正常に動作させるには、ランプを交換してください。

ランプの交換

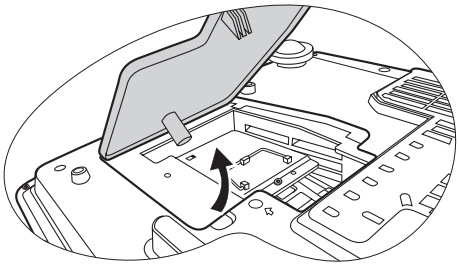
⚠
- **感電を防ぐため、ランプを交換する前には必ずプロジェクタの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。**
- **重度のやけどを負う危険を防ぐため、ランプを交換する前に、最低でも 45 分間はプロジェクタを冷却してください。**
- **割れて鋭くなったランプのガラス片を取り除く場合は、指をけがしたり、内部部品を破損したりしないように、十分注意してください。**
- **指のけがや、レンズに触れることによる画質の劣化を避けるため、ランプを取り外すときに空のランプ ケースには触れないでください。**
- **このランプの中には水銀が入っています。ランプの処分は、地元の有害廃棄物規制条例にしたがって、正しい方法で行ってください。**

1. 電源をオフにして、プロジェクタをコンセントから抜きます。接続されている機器をすべてオフにして、すべてのケーブルを外します。
2. プロジェクタを上下に裏返します。ランプカバーのネジを緩めます。

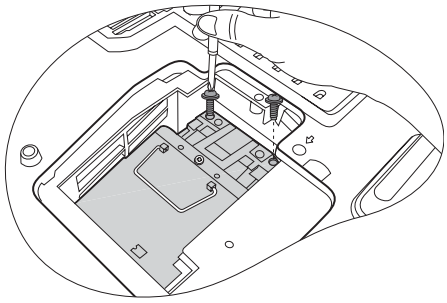


3. ランプカバーを外します。

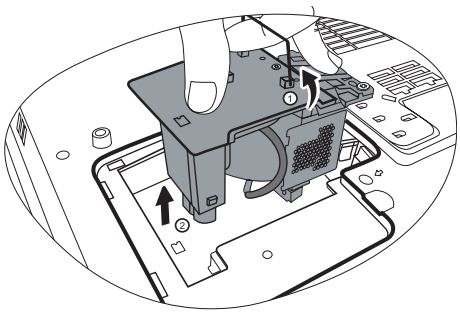
⚠ **ランプカバーを外したまま、電源を入れないでください。**



4. ランプをプロジェクタに固定しているネジを緩めます。指にけがをする恐れがあるので、ネジを完全に緩めてください。磁気ヘッドのドライバを使用することを強くお薦めします。

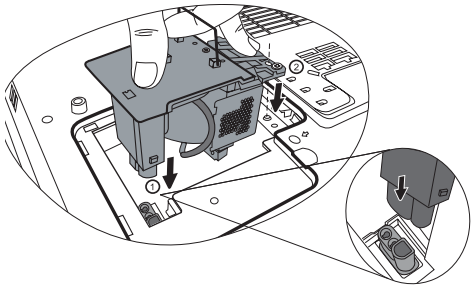


5. ハンドルを上に持ち上げてください。ハンドルを使ってゆっくりとランプをプロジェクタから引き出します。

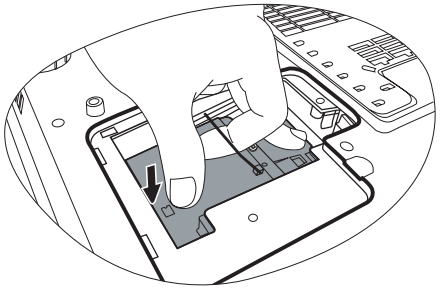


⚠
- **急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクタ内に散乱します。指にけがをしたり、内部コンポーネントにキズがついたりする場合がありますので、破損したランプガラスを除去するときには特に注意してください。**
- **取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。**
- **ランプを取り出した後は、プロジェクタ内に手を入れないでください。内部の光学コンポーネントに触れると、画像ぼけの原因となります。**

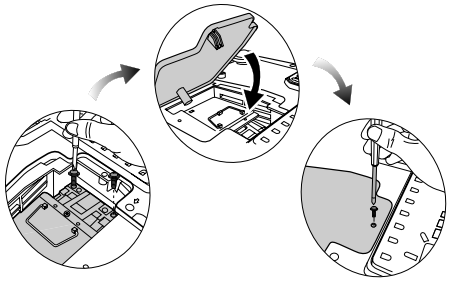
6. 図に示す通り、まず新しいランプをプロジェクタのコネクタ内に下げて、ランプの 2 個の穴とプロジェクタの突起の位置を合わせます。



7. ランプを下向きに押して、プロジェクタにしっかりと固定します。

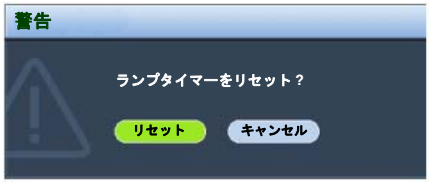


8. ランプボックスを固定するネジを締めます。
9. ランプカバーを元に戻します。
10. ランプカバーのネジを締めます。



⚠
- **ネジは締めすぎないでください。**
- **ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。**

11. 電源を入れて、ランプ時間をリセットします。
    i. MENU を押して OSD メニューを開きます。
    ii. **詳細セットアップ** > **ランプ設定**メニューに進み、ENTER を押します。
    iii. **タイマーのリセット**を選択し、ENTER を押します。
    iv. ランプタイマーをリセットしても良いかどうかを確認するためのメッセージが表示されます。
    v. **リセット**を選択し、ENTER を押すとランプタイマーが 0 にリセットされます。



☞ **ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。**

温度情報

温度警告ライトが点灯している場合は、以下の問題が発生していることを示しています。
1. 内部温度が異常に高くなっています。
2. ファンが動作していません。
プロジェクタの電源をオフにし、認定サービス担当者にお問い合わせください。詳細は、47 ページの " インジケータ " を参照してください。

インジケータ

意味

- **ブランク** - : ライト消灯
- : ライト点滅
- : ライト点灯
- O : オレンジ色
- R : 赤色
- G : 緑色

ライト			状態と説明
電源	温度	ランプ	
電源の状況			
O	O	O	プロジェクタがたった今コンセントに接続されました。
O	R	R	メイン電源がオンになっています。
O	-	-	スタンバイ モードです。
G	-	-	電源を入れています。
G	-	-	通常動作状態です。
O	-	-	• 通常の冷却プロセスを経過せずに異常終了したため、プロジェクタの冷却に 140 秒必要です。**または** • 電源を切った後、プロジェクタは 90 秒間の冷却時間が必要です。
O	-	-	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
ランプの状況			
G	-	-	ランプ時間警告 / ランプ時間エラーです。
O	-	R	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
-	-	R	1. プロジェクタの冷却に 90 秒必要です。**または** 2. 販売店にお問い合わせください。

ライト			状態と説明
電源	温度	ランプ	
温度の状況			
-	R	-	
-	R	R	
-	R	G	
-	R	O	
R	R	R	
R	R	G	
R	R	O	
G	R	R	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
G	R	G	
G	R	O	
O	R	R	
O	R	G	
O	R	O	
-	G	R	
-	G	G	

8 トラブルシューティング

? プロジェクタの電源がオンにならない

原因	対応
電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクタの電源コードソケットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認します。
冷却プロセスの間にプロジェクタの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。

? 画像が映らない

原因	対応
ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
プロジェクタが正しく入力ソース機器に接続されていません。	接続を確認します。
入力信号が正しく選択されていません。	プロジェクタまたはリモコンの **SOURCE** キーで正しい入力信号を選択します。
レンズ キャップが装着されたままです。	レンズ キャップを取り外します。

? ぼやけた画像

原因	対応
投写レンズの焦点が合っていません。	ピントリングで焦点を合わせます。
プロジェクタとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であれば装置の高さを調整します。
レンズ キャップが装着されたままです。	レンズ キャップを取り外します。

? リモコンが機能しない

原因	対応
電池が切れています。	電池を新しい電池に交換します。
リモコンとプロジェクタの間に障害物があります。	障害物を取り除きます。
プロジェクタからの距離が遠すぎます。	プロジェクタから 6 メートル（19.5 フィート）以内の場所に立ちます。

? パスワードが不正です

原因	対応
入力したパスワードが正しくありません。	詳細は、24 ページの " パスワードの呼び戻しを行うには " を参照してください。

仕様

プロジェクタの仕様

☞ 仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

光学

投写システム	3 パネル LCD システム
DMD チップ	0.55" LCD (1280 x 720)
レンズ	1.2 倍ズーム
投写スクリーンサイズ	23.5" ~ 300"
ランプ	140W

電気仕様

ビデオ信号	NTSC / NTSC4.43 / PAL-B/G / PAL-M / PAL-N / SECAM / HDTV
データ信号	XGA、SVGA、VGA、Macintosh、HDTV (1080p、1080i、720p、576p、576i、480p、480i)
表示可能な最大色数	16,770,000 色 (フルカラーの場合)

端末

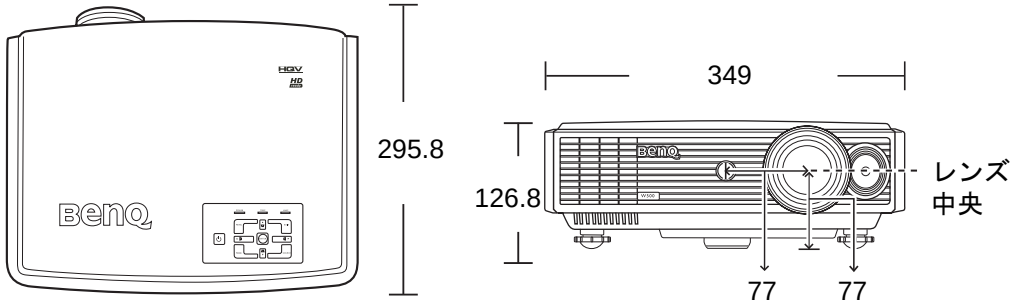
入力	ビデオ、S ビデオ、コンポーネント (Y/ C_B/ C_R、Y/ P_B/ P_R)、D-sub、HDMI
出力	12VDC (最大 0.5A)

機械仕様

重量	8.8lbs/ 4.0kg+/-0.2
電源	VAC 100 - 240V、4.0 A、50 / 60 Hz (自動)
消費電力	最大 215W
動作温度範囲	0 ~ 35°C、(結露なきこと) (海抜 メートル)
動作湿度	10% - 90% (結露なきこと)
動作高度	0 ~ 1499m、0 ~ 35°C 高地対応モード：1500 ~ 3000m 0 ~ 30°C
保管温度	-20°C ~ 60°C/ -4 ~ 140°F
保管湿度	10% - 90%

外形寸法

349 x 126.8 x 295.8 mm (W x H x D)



単位：mm

タイミングチャート

☞「V」はこのタイミングが対応できる入力タイプを示しています。

フォーマット	解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)	コンポーネント 1/2	S ビデオ / ビデオ	D-Sub	HDMI
720 x 400	720 x 400	70	31.469	28.322	-	-	V	V
640 x 480	640 x 480	60	31.5	25.175	-	-	V	V
		72	37.9	31.5	-	-	V	V
		75	37.5	31.5	-	-	V	V
		85	43.3	36	-	-	V	V
800 x 600	800 x 600	60	37.9	40	-	-	V	V
		72	48.1	50	-	-	V	V
		75	46.9	49.5	-	-	V	V
		85	53.7	56.25	-	-	V	V
1024 x 768	1024 x 768	60	48.4	65	-	-	V	V
		70	56.5	75	-	-	V	V
		75	60	78.75	-	-	V	V
		85	68.7	94.5	-	-	V	V
1280 x 768	1280 x 768	60	47.4	68.25	-	-	V	V
		60	47.8	79.5	-	-	V	V
		75	80	135	-	-	V	V
		85	91.1	157.5	-	-	V	V

フォーマット	解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)	コンポーネント 1/2	S ビデオ / ビデオ	D-Sub	HDMI
NTSC 3.58	-	59.94 / 60	15.734/ 15.75	3.58	-	V	-	-
NTSC 4.43	-	59.94 / 60	15.734/ 15.75	4.43	-	V	-	-
PAL-B/G	-	50	15.625	4.43	-	V	-	-
PAL M	-	59.94 / 60	15.734/ 15.75	3.58	-	V	-	-
PAL N	-	50	15.625	3.58	-	V	-	-
PAL60	-	59.94 / 60	15.734/ 15.75	4.43	-	V	-	-
480/60i	720 x 487	59.94 / 60	15.734/ 15.75	-	V	-	-	V
480/60p	720 x 483	59.94 / 60	31.469/ 31.5	-	V	-	-	V
576/50i	720 x 576	50	15.625	14.75	V	-	-	V
576/50p	720 x 576	50	31.25	29	V	-	-	V
720/50p	1280 x 720	50	37.5	75.25	V	-	-	V
720/60p	1280 x 720	59.94 / 60	44.955/ 45	74.25	V	-	-	V
1080/50i	1920 x 1080	50	28.125/ 31.25	74.25/72	V	-	-	V
1080/60i	1920 x 1080	59.94 / 60	33.716/ 33.75	74.175/ 74.25	V	-	-	V
1080/24p	1920 x 1080	23.98 / 24	26.978/ 27	74.175/ 74.25	V	-	-	V
1080/50p	1920 x 1080	50	62.5/ 56.25	148.5	V	-	V	V
1080/60p	1920 x 1080	59.94 / 60	67.433/ 67.5	148.35/ 148.5	-	-	-	V

⑩ 保証と著作権について

著作権

Copyright © 2007 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、BenQ Corporation は本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても BenQ Corporation が通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。

*Hollywood Quality Video および HQV は Silicon Optix Inc. の商標です。その他の著作権は各社または各組織に帰属します。

保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換（工賃を含む）に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度 10% から 90% の間、温度 0ºC から 40ºC の間、高度 10000 フィート以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

⓫ 法規

FCC 規則

B クラス: 本デバイスはラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

— 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
— このデバイスと受信装置の距離をあける
— このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する
— ディーラーか経験のあるラジオ /TV 技術者に問い合わせる

EEC 規則

本装置は、EMC（Electronic Magnetic Compatibility：電磁的両立性）に関する ECC 指令 89/336/EEC に適合することが試験の結果確認されています。

MIC 規則

B クラス装置（家庭用情報 / 電気通信装置）

本装置は家庭用として EMC 登録を受けているため、本製品は住居地域を含む任意の地域で使用できます。

WEEE 指令

ヨーロッパ共同体における家庭からの電子および電気製品の廃棄について。

本製品または梱包材料に記載されているこの記号は、これを家庭廃棄物として破棄することができないことを意味しています。電子または電気装置の再利用規定に基づいて処理してください。本装置の再利用についての詳しい情報は、お住まい地域の市役所、本製品を購入された店、または家庭廃棄物処理機関にお問い合わせください。素材の再利用は自然環境の保護に役立つと共に、人類の健康や環境を確実に保護する方法で再利用されます。

